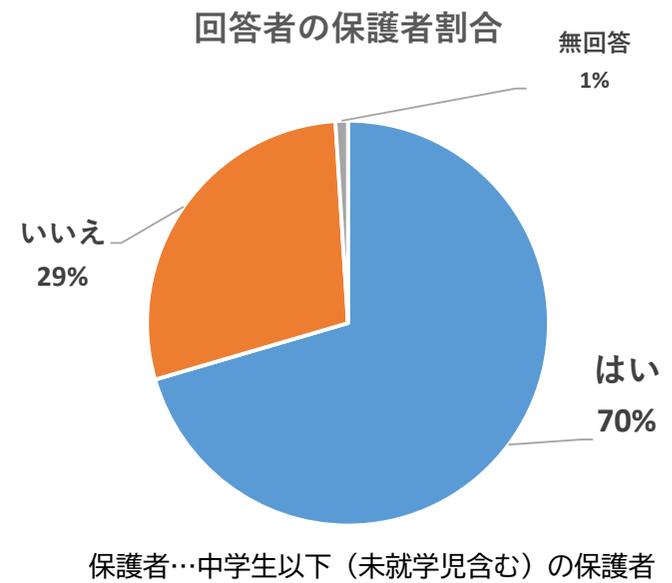
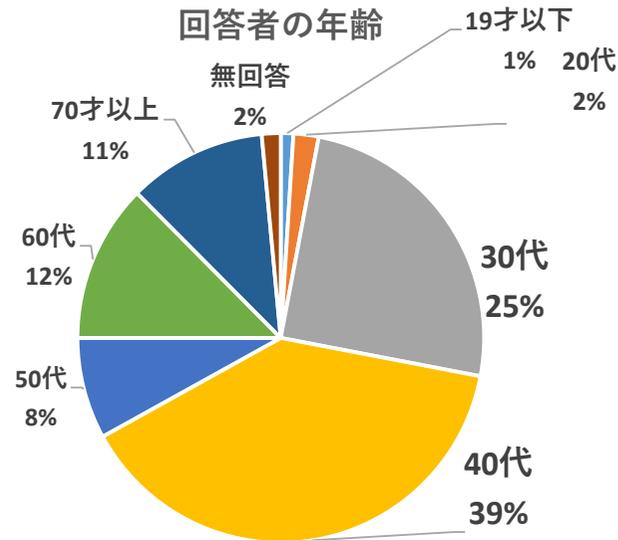


## 須坂学園構想 基本方針（案）アンケート結果

年齢	計
19才以下	2
20代	4
30代	50
40代	78
50代	16
60代	25
70才以上	22
無回答	3
計	200

保護者	計
はい	141
いいえ	57
無回答	2
計	200



※回答内容は、個人が特定できない範囲で回答者が記入した原文のまま公表しています。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
1	30代	はい	もっと早く実現すべき。レベルの差が激しすぎるため、クラスは最低限、学力別に分けて欲しい。	通学バスなどの整備が必要			すぐに実現してほしい。現在須坂小で1クラスしかなく、学力レベルも低く環境がよくない。
2	40代	はい	抽象的すぎてわかりづらい気がします。生きる力は大切ですが、学力面は大丈夫なのかと不安に感じます。	子どもの人数に比べて小学校が多すぎるので統合するのは良いと思います。通学距離が遠い方は特に不安もあると思いますのでスクールバス等配慮が必要だと思います。	小学校から中学校へ上がる際、子どもの様子、学力面等引き継ぎはスムーズに行えそうで良いと思います。入学式、卒業式は小学校、中学校それぞれに行ってほしいです。	施設一体型と隣接型は小学生と中学生の関わりが増えるので、良い影響、悪い影響とありそうで期待と不安があります。	特にありません。
3	30代	はい	須坂市の小学校は、複数学級の場合は2年ごとのクラス替え、また担任の持ち上がりが普通になっています。他県では、1年ごとのクラス替え、担任もほとんど持ち上がらない(持ち上がっても2年間程度)現状です。毎年クラス替えすることで、人間関係の固定化によるトラブルの防止になりますし、毎年担任が変わることで色々なタイプの先生から学べる機会を得られます。学校によっては、毎年担任を変えようという学校もありますが、保護者の間では担任が変わった時、何かトラブルがあったのではないかと勘繰る人もいて、変な噂が流れたりします。新しい学園になるこの機会に、学級編成や教員配置についても併せて考えてくださると幸いです。※どの欄に書けばいいかわからなかったため、この欄に記入させて頂きました。				学区の見直し後、入学の時期のタイミングで、通学する学校が兄弟で違う家庭が出ないか心配です。また、冬場は教室も寒く、お腹が痛くなる子が多いと聞きます。教室の暖房設備の見直しやお湯が出る水道の増設などをお願いしたいです。
4	40代	はい				おもしろいと思います。これを機に、先生方の働き方改革も進めて、子どもたちが健やかに成長するための環境づくりに尽力してほしいです。	
5	19才以下	はい	特にありません。	通学のために負担がかかる方が出てしまうのではないかと心配です。	現時点では、問題点を教師への負担について大きく取り上げられているように感じます。学力を上げるため家庭での負担が出てしまうため、全体を考えた学力向上を期待します。	交友関係が幅広くできるため、子供同士の繋がりなどについて細心の注意が必要になりそうに思います。	

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)	
6	40代	いいえ			小中一貫教育で「中1ギャップ」がなくなり、不登校などが減るとありますが、同意できません。須坂市でも不登校が増えています。その原因は、学校という場所が児童生徒にとっての安心して学べる居場所となり得ていないことだと、私は考えています。「中1ギャップ」に迫るなら、困っている当事者である子どもたちに直接、意見を聞くのが先決ではないでしょうか。	学校が遠くなること、教職員が全体として削減されることが課題だと考えます。	市内の小中学校を統廃合することに、反対します。少人数学級の学びをすすめ、一人ひとりに手厚い教育を望みます。	
7	30代	はい				小中一貫校にて、中一ギャップの解消が期待できますが、分離型でそれが可能なか疑問が残ります。また、イジメが発生した場合それが9年間続くという恐怖もあります。そのあたりを新しい施設を作る際に専門家の介入が不可欠かと思えます。是非基本構想の段階から研究者や専門家を入れていただきたいと思えます。		
8	40代	はい					こちらにまとめます。支援学校保護者です。小中9年間一貫して、という形式は地区ごとの児童数に偏りや減少があるのなら仕方が無いと思いますが、第1学園のような4年生まで〇〇小学校、それ以降は〇〇中学校のような別校舎になるのなら、同じ敷地内でも、渡り廊下をつけても、意味が無いと私は思います。同じ校舎にいるからこそその繋がりがあるのかと思います。また、今後、統合して、通常の児童はそれで良いとして、むしろ今よりも更に、他県がそうのように、支援学級に通う児童数は増えていくと思います。そうなったとき、教員、支援員の数や教室数は対応していけるのでしょうか？さらに須坂の支援学校についても年々新入学児童が増えているようです。やはり障害を持つ子供も増えていくと思います。須坂小学校と同じ校舎で学べ、活動を共にしてお互いを知る機会が多々あることができる重要な学校だと思います。それをどのような配置で統合されるかわかりませんが、小学校4校と中学校1校と共に、となるとよほど大きな校舎ではないかと懸念します。	

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
8	同上	同上					1クラスの児童数の設定が少ないので。かといって、支援学校だけを独立されるのも困ります。最初に支援学校を立ち上げに声を上げられた保護者の方々の努力や、今までの良い経験が無くなるはデメリットでしかないと思うので。現状どのように生徒数が減っているのか分かりませんが、中1ギャップを無くしたいのも分かるのですが、逆に9年も通うと高1ギャップに子供が対応できるのか？卒業式などの節目、自分が小学校でいう6年生の最高学年になったときの責任感、達成感は感じられるのか？など、申し訳ありませんがデメリットしか私は見えていません。今後も色々な説明会があると思うのでできる限り参加したいと思いますが、統合するのが決まっているならよいのですが、他県や、他都市のように特色ある学校作りで成功されているところもあるので、全部が全部統合しなくても良いのでは？そういう学校には人は集まってくるのではないのかな？とも思っています。現状の学校の形態でも、先生方が、大変苦心されて課題を作ったり授業に取り組んだりして下さっています。統合することでそこが少しでも緩和されれば良いのですが、知らなくてはいけない児童数が増えてよりご苦労が増えたりすることがないような計画であってほしいです。
9	30代	はい		登園する生徒の負担。自転車などの交通事故。	縦割りでの交流		通学での交通事故
10	70才以上	いいえ	イメージがわからない 旧教育基本法の第1条(教育の目的)がふさわしいと思う。 教育は人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として真理と正義を愛し、個人の評価をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。	小学校区・中学校区というように、小中学校は、地域の寄りどころ交流の場であったことを無視した、単なる小中学校の統廃合の姿をカモフラージュした構想と思います。	従来の六・三制をなぜ変えるのか、理由がわからない。六・三制の何が問題なのかを総括しているのか。すでに小中一貫教育を行っている市町村からメリット・デメリットを調査しているのか。	中一ギャップはどの程度生じているのか。不登校等が軽減するというのが、中学校一年生以外の年齢層のコミュニケーションが期待されるという年齢差が大きくて、出来ない場合もあるのではないかと。	新しい学校づくり基本方針検討委員会、学びのあり方検討会議、須坂市小中学校適正規模等審議会の各委員のメンバー名と会議の議事録を公開すべきと思う。今後は、市民全体に対する説明会を開催すべきと思う。長い通学路、時間の安全性、通学バスの場合は地域とのつながり等の問題は検討されたか。
11	30代	はい	良いと思う。 高校も、須坂高校と、創成高校の間くらいの偏差値の高校ができてくれたら良いと思う。	中学生の指定の制服は廃止してもいいのでは？ 長野市では、カッコイイ学校指定のジャージを来て登校したり授業を受けたりしているので(広徳中学校)そういう方にシフトしていった方が、男女差も無いし、夏は涼しいし、スカートの制服よりも女子への利点も多いのでは？ 洗濯もしやすいと思う。	非常に良いと思う。 クラスが多くなる分、勉強が得意、平均的、苦手、などグループごとにクラスを分けて教えてもらえたら有り難い。	5年生から移行するのは中1の壁に対応していて、良いと思う。	豊丘の子は須坂小まで行くのは遠いと思うので、仁礼と一緒にの所にしたらどうか？

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」 「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
12	40代	はい		同じ市内で通学する地区によって、小中一貫型学校と義務教育学校に分かれることに抵抗ある。そもそも公立なのに、小中一貫教育にする必要があるのか。一貫教育にすることで、小学校→中学校になったときの色んな変化を子どもは感じづらいのではないか。少子化で学校をまとめたのはわかるが、メリット・デメリットあると思う。	小学校・中学校という括りがなくなれば、中1ギャップは軽減される可能性はあると思う。	通う地区によって、一体型、隣接型、分離型に分けるのに疑問。同じ市内で、小学校と中学校の区切りをなくしたり、区切りをもうけることに疑問。やるなら、どちらかに統一してほしい。	切り替える段階で、通う学校が変わることも環境やともだちが変わるので、かわいそうだと思う。第一学園の低学年は小学校校舎、高学年は中学校校舎…小学校と中学校の括りを取っ払うのに抵抗ある。通う校舎が分かれたり、隣接していないなら小中一貫とは言えないと感じる。
13	40代	はい		子供の数が減っているのでは仕方ないことだとは思いますが、高校の選択肢が少なすぎます。長野市まで出て行けば、選択肢が増えますが、交通手段も決して恵まれているとは思えません。学校生活とは直接関係ないことかもしれませんが、子育て世代の親からして、医療体制、特に小児科がなさすぎるのも子供の数が増えない1つの理由かもしれません。	小中一貫教育自体には反対はしませんが、イメージとして私立学校かつ、受験というものがあります。公立でも実施でき、様々な面でハードルもあまり高くない設定にしてほしいと思います。		
14	60代	いいえ	「自ら未来を拓いていく子」に、「今」生きている「ここ」＝地域・須坂を好きになって誇りに思える学びができる学校を目指してほしい。	小中一体となつての一貫した教育のよさは理解できるが、施設が分離した状態の中で、そのよさが期待できないのでは？	小中一貫のよさは大いに期待したいが、1～9年生まで例えば縦割りでの学習活動や、地域を知る・学ぶ学習をどう進めるのか、具体的なカリキュラムを知りたい。	信濃小中学校のように、同一校舎で一貫した教育活動ができれば、教員の意識統一も含め柔軟な教育のよさが生かされそうだが、施設が分離している状態では難しいのでは？	施設分離型の欠点を克服したとして、各地域住民の声を十分に聞きながら進めてほしい。地域のコミュニティである学校はなくなってほしくないが、空いた校舎や教室の利用はどうしていくのか、具体で示してほしい。
15	60代	いいえ			「小中一貫」と言いながら、使用校舎が離れていて「一貫」と言えるのか？…その欠点を補う具体を示してほしい！	「小中一貫」で職員の配置にどんな利益があるのか？…校舎が離れていて教頭は？ 職員の免許種別は？ 指導教員は配置か？ 管理面は？…等々	先生方はこの構想にどんな周知、意見の吸いあげなどかかわってきたか？ 今後カリキュラムを含めて学園の構想に何をどのようにかかわっていくのか… 地域の検討会と合わせて、職員・先生方の意見をよく聞きながら、プロジェクト等で慎重かつ大胆に進めてもらいたい。
16	40代	はい	他県からも注目され、他市からも引っ越しを検討するに値するくらいの子どもが自立し、社会に出て自発的に動ける子どもが育つ基礎となる学校づくり	人材不足が子ども懸念されますがたくさんいる型にはまった先生より、少しでもいいから有能な先生が集まる学校だといいなと思います			市内を無駄に走る大型バスより小回りの利くバスやハイエースなどなどでもう少し通学時の利用合わせて須坂のどこにいても不自由でない暮らしができるといい 通学区域については民も時代も変化しているのに行政が変わらないという壁で呆れてます

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
17	40代	はい	通学区の見直しについては賛成。今からやってもいいと思う。 一貫教育についても、自分たちの頃よりもプログラミングや英会話、ダンス等の多様なカリキュラムが入ってきているので、専門的な知識を持つ教師や講師確保のためにも賛成。				計画が遅すぎる。 何も無いところに学校を作るのではなく、今あるものを変えるのであれば、先にできる所は早めに着手すべきだと思う。 通学区 来年は無理でも、保護者への説明を経れば5年のうちに変更はできる。 通学方法 バス通学や自転車通学を拡充すればこれも3年以内にできる。 後は、教師や講師が少し大変だけど、市外に出る訳では無いんだから、その都度学校から学校へ移動すればいいだけ。 その後、予算をとって土地を確保してしっかりと建物を立てればいい。 今通っている若しくはこれから子どもを通わせる親が対象(あくまでも子どもが主役)なので、子供がいない世帯等の市民への説明は不要だし、正直関係ないと思う。(子どもが増えたなーとか、バス多いな一程度かと) 市民から意見要望を聞いたとしても、おそらく『須坂市としてここまでしっかりとやろうとしている計画である構想計画は変更しない』のだから、なら何言われようが多少非難されようが前倒しでやれることはやっていくべき。 熟考して遅くやっても、人間は十人十色で結局後からあーだこーだと言われるのだから、それなら早くやって、色々言われてどんどん改善していくべき。
18	20代	はい			小中一貫教育とてもいいと思います。 兄弟間で同じ学校になれば登下校も安心だし、参観日も楽になります。		
19	50代	いいえ	小中一貫校はそのまま9年間学べる学校だと思います。 その方向でよいです。	第一学園施設分離型には高甫小東中両校舎狭いと思います。 分離型にはやむを得ません。 第二第三第四は施設一体型にしてください。 第二は小中一貫型学校、第三第四は義務教育学校にしてください。	小学校教科担任制には賛成します。	(1)は一貫していくのには賛成ですができれば施設一体型にしてください。 (2)はできれば施設一体型にしてください。	第一学園の「高甫仁礼両小」通学区域内。 第二は課題点は小山小は屋部町のみ墨坂中以外は常磐中、日滝小は相森町のみ相森中以外は常磐中、須坂小は相森中常磐中でしたので第二は常磐中使用すると思いますので常磐中通学区域内+豊丘小通学区域内に。 私の住んでます北横町は森上小、相森中通学区域です。 北横町は第三学園(旧相森中)通学区域にして頂いた方が近いです。 第三は相森中通学区域内に。 第四は墨坂中通学区域内(高甫小通学区域内除く)に。
20	40代	はい	子どもの未来が最優先事項であり、そのために大人が何をすべきか、この基本姿勢を見失うことなく議論し行動してほしい。	居住地によっては長距離通学を強いられる子どもが出てきてしまう。 放課後即帰宅できる環境の子や、学童保育に頼らざるを得ない子、習い事がある子など家庭環境により様々。 居住地によって放課後の選択肢が狭まらないよう弾力性のある通学支援を行政にお願いしたい。	学校環境が変わらないことによるマンネリ化や、不登校児の復帰のきっかけが一つ無くなる事が懸念される。 適度な環境変化とその適応が子どもの成長を促進すると考えるので、最適な頻度のクラス替えや、卒業式に代わるイベントを実施し達成感を得るきっかけ、新しいことにチャレンジする機会の創出を検討してほしい。		質問2と同じ

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
21	40代	はい	少子化もあり、今後の子どもたちの学校という集団生活を継続するには必要なプランであると思います。 小中9年間を一貫して行うのは、かなり大規模な変革だと思いますが、中1ギャップを改善がかなり期待できるものなのか、データがあれば、先行事例とともにご提示頂ければ幸いです。 中には、生徒同士の折り合いが悪く、離れたいけど離れられない事象が生じてくるのではないかとも思います。その点は、どんな対策を予定しているか知りたいです。 ぜひ、アンケート結果を各保護者にお知らせ下さい。 よろしくお願いします。				通学距離が長くなる生徒もいると思います。防犯上の対策や、道路交通面の整備が、これまで以上に必要かと思えます。誰がどのように、予算も含め、子どもの安全を保持できるかの具体策の提示が必要だと思えます。
22	50代	はい		通学区域が広がる事で、安全性や利便性が確保できるかどうか課題かと思えます。	小学校から中学校へ進学する際に、心機一転できたり、新しい出会いがあったかと思えますが、閉塞してしまわないか心配はあります。		段階的に移行していくのはいいと思います。
23	60代	いいえ	この目指す姿を達成するため、なぜ小中一貫が必須なのか、その説明が欠けています。 今のシステムでは、この目標が実現できそうもないとすれば、その要因はなんですか？ めざす学校、についても同上の意見です。	議論の結論として、この予想図が絞り込まれた経過は、公開されて然るべきです。 例えば、これ以外の予想は無かったのか。あったとして、何故結論併記しなかったか。 私は、もっと小規模校で一貫教育の方がより目標達成にそうと考えます。そうした意見は、全くなかったとしたら、大変残念に感じます。	はじめに未来予想、構想ありき、としか感じられません。 小中一貫校の一般的な効果を説明して下さい。しかし、このことが、どのように新校の目指す子どもの姿に繋がるのか、説明が不足しています。 教師不足、児童数減少の傾向に対処するのは、ひとつの課題ですが、一方の少子化対策が機能して、あるいは移住傾向が高まって、この構想が実相に適合しない事態など、想定して欲しいです。今なら、それらのケーススタディは可能でしょう。	今後の進め方、市民に分かる表現で説明して下さい。 この案が、どのように市議会に提案され予算化されるのか、重要な市政ですから丁寧な取り扱いをお願いします。 予算規模、教員の増員を排除しない配置計画、事務支援体制、通学対策、教材など幅広い、具体的な提案が期待されます。	この基本方針案は、須坂市教育委員会が提案したものと理解します。 その上で以下明らかにした提案にしてください。 通学距離や通学時間が長くなる場合は、スクールバス等の運行を検討します。について。 このことには、生徒達には、大変重要な事です。最重要と申しても過言ではありません。 検討します、は大変無責任です。 検討方法、予算措置、スクールバス運行のマンパワーなどなど、具体的な提案は必須と考えます。 私は、坂田町で生活しています。小中学生の通学路がどのように設定されているか、良く知っています。通学時間のその危険性、リスクは、何十年と改善されていません。もっと安全な経路があるのに、通学路優先の指導が十年一日のようにされていませんか？学園構想には、こうした具体的な課題解決を踏まえたものであって欲しいです。
24	30代	はい	現状のままでお願いします	期待はないです	不要です	現状のままでお願いします	

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
25	30代	はい		須坂市の小学校は比較的綺麗だ と思います。またエアコンも整備 されたばかりで、施設が勿体無 いと思います。 すでにクラス人数が少なくなっ ている小学校から隣接小学校へ 合併などから始めてもいいと思 います。 小学生にとって中学の学区に通 学させる事は通学距離が遠くな り、親も特に低学年の3年間は 負担や心配、不安が大きくなる ことで私生活の面でも制約が増 え、帰宅後学校へ遊びに行くこ とも難しくなります。参観日な ど駐車場の数が確保できないと 学校に向向くのも大変になりま す。	現在でも荒れている中学生が いる事で指定学区の中学校を 避けるべく、受験を考える家 庭もあります。荒れる中学生 の小学生への影響が心配で す。	全校数もかなり多くなり、 第一学園を除く学区では義 務教育学校より小中一貫型 の別れている方が理想。中 学生は勉強に集中でき、体 の大きな中学生と小さい小 学生と一緒に過ごすことで 生じる弊害を減らせると思 います。	豊丘小は第一学園でいいのでは。 高学年ではある程度学校まで通学できそうであるが、1.2.3.4年生は中学 の学区まで歩くのは大変です。長い期間バス通学が必要になります。不 安が強ければそれ以降もバス通学が必要です。高山村のように、お金は 市が負担して長電バスの利用も考慮してみてもはどうでしょうか？スク ールバス運行する場合も無料をお願いします。
25	同上	同上		中1ギャップの他にも、クラス 替えが2年に一度、やっとお友 達と馴染めてまとまってきたク ラスが、クラス替えによって適 応できず不登校になるお子さん もいます。中1ギャップが理由 の一つなら、小学校のクラス替 えの頻度を減らして欲しいで す。			
26	70才以上	いいえ	地域から子供たちの姿や声が聞こえなくなった。学 校から帰ってそそくさと塾に行く姿は割と目にする ようにもなった。放課後校庭で遊ぶ子どもたちも少 なくなった。昔のゆつくりと豊かに競争にふりまわ されない教育がなつかしい。なんだか今の子どもた ちがかわいそうに見えることがあります。	現行の学校教育の問題点が明ら かにされず、いきなり学園構想 なんて唐突すぎる。 こうした構想が提案される背景 に何があったのですか？ これを見ると小規模学校がいく つかあわさって新(?)しい学 校ができるように見えますが、 子どもたちはそれでいいので しょうか。肝心の子どもたち抜 きにしてこの構想がどんどん進 まないよう望みます。	小中一貫教育の中味が良く解 らない。9年間同じ学校で… ということ？学校になじめず 不登校などで苦しむ子供、保 護者は救われないような不安 を覚えます。 小中一貫教育で目ざすものは 何ですか。	(1)(2)の違いが解るよう でわからない。 学園構想を進めることを前 提にこのアンケートが実施 されているようで(肝心の 子ども抜きで。)賛成、反 対を地区ごとに教育懇談会 形式で話しあうことができ ないでしょうか。	多くの学校、子ども、保護者、教職員が今より良い環境の中で学校教育 が進められることを第一に、あわてず慎重に考えて行くことが大事だと 思います。
27	60代	いいえ	須坂市が考えている小中一貫教育が子どもたちの生 きる力を伸ばすことができるのか。 先月 離れ山の民話を地域と一緒に取り組んでいる 新聞記事がありました。そのように、地域とともに 歩む学校になるのか疑問です。 特に地域に小学校がなくなることで地域が消滅して しまいます。移住して、地域の中で頑張っている方 もいて、小学校と地域は一帯です。 豊丘(ゆたかなおか)は歴史のある地域で破風高原 のれんげつつじ、りんどうも大事にのこしてほし い。	中一ギャップのような大人の考 えで、構想をすすめるのは子ど もの考えが必要と思います。 小学校での教科担任制の導入 や、中学校教員が小学生に授業 するのは過去にも取り組みがあ りました。教員の負担はいかが なものか。	順次、再編し通学の見直しに よって通学学校が変更するの は、子どもにも負担が生じると 考えます。	今、なぜ、その構想で開校 をめざすのか、そのことが 知りたい。 今の教育現場がどのような 状況になっているのか調査 が必要です。子ども、教育 者がメンタルを痛めている ようです。	5に至る前に今、須坂市にとって何が欠けているのか。 子どもの選ぶ権利や学ぶ権利(生きる権利)など考える必要があります。 子ども、教育者の皆さんの考えも聞きたい。労働組合の皆さんの声もき きたい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
28	30代	はい	小中一貫校型になることで、中1ギャップの心理的、文化的ギャップの一部分が薄れることが望まれます。 その一方で、小学校で友人関係等うまくいかなかった児童が、中学生となった時に環境が変わることで変化できる可能性を否定してしまうのかな、とも思います。 自分らしく未来を拓く力が、そこから生まれ出るものなのか…と不安に思います。	校舎は新しくなるのかな？どこにできるのかな？日滝と小山は児童数が多いけれど、それを統合して良いのか？と思います。	小学校で理解できなかった学習分野を、中学校で補えることがメリットかと思います。地理と歴史は別の分野で教わりますが、子どもの学習として考えると、地歴融合して学んだほうが良いのかな…と思うことができました。ついでに、学習に対して柔軟性や長期的な教育ができるようになることが期待できます。ただ、須坂市に転入してきた子が、学習についてこれるのか、潰しが効くのか…子どもや教師の負担が少ないようにと思います。	小中一貫型学校で再編を行うのであれば、メリットは少ないのかなと思います。市内で上記の学校にメリットを感じている世帯は、信大附属や長野日大に進学していることと思います。新たな学びを拓くのであれば、義務教育学校を行っていただきたいです。子が通う学校が、義務教育学校であれば、信大附属や長野日大に通わせなくてもいいかなあと思います。	豊丘って、小山小に通ったほうが良くないですか？交通の便など考えても、小山だと思うのですが…なぜ須坂だったのか理由を知りたいです。
29	40代	はい	無謀すぎる。いい影響も少なからずあるかもしれないが、同じ方向を向かないのが人。それが人数が増えることで問題が大きくなるだけ。	親の送迎が増えることが目に見える。負担が増える。	中学の雰囲気を見られることは、これから中学生になる小学6年生にはイメージしやすいと思うが、小学4年生の時がが来てくる学年には中学は良い影響とは思えない。段階を得ず中学生と同じことをしたがる。また、中学は受験もあり小学生がいることで賑やかさ、感覚の違いから落ちて学習に望めない。	問題が増えるだけ。子供達への刺激が多くなる。親も子も同じ顔ぶれと離れることなく9年間は負担が大きい。先生達はその負担(子達の相性も考えたクラス割り、対応)が可能なか？疑問です。	学園構想はしなくてよい。反対です。
30	70才以上	いいえ	須坂市がめざす子どもの姿、須坂市がめざす学校、が見えません。須坂市の人口減少しか見えません。				
31	70才以上	いいえ	抽象的表現で一見大変良い方針に受け取れますが、明らかに小・中一貫校、学校統廃合、小規模校廃止の方向に結びつくことが見え見えで納得できません。	こんなに具体的に突然発表されて驚いています。この案を作ったのはどういう組織でどういう方(委員?)なのか氏名を公表し、議事録も公表して下さい。	一貫教育は教職員数を少なくおさえる効果があるでしょうが、今でさえ多忙な先生方の負担が増えるのではないのでしょうか。また、生徒にとっては大勢の集団の中で多様な仲間を得られると言いますが、小・中一貫して競争させることになるのではないのでしょうか。学区が広がればスクールバスも導入されるでしょう。放課後の活動・登下校中の自然や地域の人々との交流もなくなってしまいますね。		地域の文化や伝統は学校を中核に発展してきました。子どもの育ちは学校だけでなく、地域の人々にも支えられて行われるものだと思います。生徒数や建物の数、教職員の人数などで”安あがり”の方向で考えられているように思えます。全体の構想について再考を希望します。
32	40代	はい	少子化、教員不足、中1ギャップなどの問題を抱えるなか解決になる良いアイデアだと思いました。	新しい学校をつくるという前向きな力が、地域や学校、子どもたちから集まり、より良い未来に向かうといいです。	子どもたちだけでなく、教職員の交流に期待したい。小学校と中学校との授業や学校の雰囲気が違いすぎる。		スクールバス等の運営を、須坂支援学校も含めて考えていってほしい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
33	40代	はい					中学校との位置関係から、たぶん通学区域の見直しに該当する地域に住んでいると思われます。通学区域の見直しについて、決まっていることがあれば早めに教えて欲しいです。途中で小学校が変わってしまう可能性もあるのでしょうか？
34	30代	はい	義務教育が一貫したカリキュラムで進めて行けるのは良いと思う。	現在の学区割と比べて、遠い学校へ通わなくてはならない地区が出てくるのではないかなと思う。			途中で学校が変わってしまう学年が出てくる。
35	30代	はい	県内トップクラスの進学校 小中学一貫による多様性の育成 グローバルに強い学校、生徒の育成	学費がどれほどかかるか不安 生徒数の確保	英語教育の充実 経済、お金の勉強の時間を増やす	立地が良いこと	早期実現を希望します
36	30代	はい			英語教育にもっと力を入れて欲しい。多言語があることを小さい頃から知って欲しい。 お金の教育や性教育について、期待したい。		学校が遠くなる子供がでてくること。スクールバスを、導入があるのか。導入があった場合、どのような運用になるのか。
37	40代	はい					少子化は待たなしで急激に進行していますので、第一段階としての目安の7年後では遅すぎるように感じます。もっとスピード感をもって対策していくべきではないでしょうか？
38	60代	いいえ	自分らしさとは、聞こえがいいが、須坂学園構想からどう生まれてくるのだろうか、具体像が見えない。 また、地域とともに歩む学校というのが、地域から学校が無くなってしまふことと矛盾している。 多様な価値観との出会いは、年齢が下であるほどいいということなのか疑問を感じる。 結局は、市の経済的負担を減らすための統廃合をしようとしているだけに感じる。	中1ギャップの軽減とあるが、小学校を集約することで早い段階からの不登校の増加を招く恐れがある。小規模校の一人ひとりの子に目が行き届くことの良さが奪われる。 また、小中一貫による小5ギャップが発生するという話も耳にしている。 また、勤務する教員の負担は増すばかりではないか。須坂市の学校では働きたくないとならないだろうか。 今までの学校の伝統、地域とのつながりが消えてしまう。		現在ある学校で地域に根ざす特色ある学校遠目指すことこそ、多様な子どもの姿をうむとともに郷土愛を育て、地域に将来にわたって住む人になるのではないか。	第一学園がスタートしたら問題が生じても後戻りや中止ができなくなるのではないか。
39	40代	はい	大きくして個々みてくれるなら良いとおもいます。小中一貫としていいがひとがくねどのくらいのクラスになるのか。人数がおおければいいのか。	豊丘小が第二学区になる予定で今まで通りなら第一の学区で東中の地域なので少ないのなら今時点で仁礼小と一緒にでもいいのではないかとおもうがなぜ須坂小なのか疑問。	大人数過ぎて目がゆきとどくのか 只でさえ教師もブラック企業になりつつありあるのではないかとおもうがなぜ須坂小なのか不安	市なので私立とはちがうのだからやってくれるのか不安だ	豊丘小が第二学区になる予定で今まで通りなら第一の学区で東中の地域なので少ないのなら今時点で仁礼小と一緒にでもいいのではないかとおもうがなぜ須坂小なのか疑問。 見直しにはいいが基本的には近い方面きちんと考えてほしい いざ広すぎて友達と遊ぶときも遠くていけない距離だと親は迷惑だと感じる。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
40	50代	いいえ			小中連携した学習指導を願いたい反面、それによって教師の必要以上の仕事が増えるのではないかと懸念が否めない。児童生徒の学力向上のために、教師の増員も検討して欲しい。	以前から言われてきた、一貫校やら統合が進まない理由はどこにあるのか、開校への年数が大分先で、これを計画したまたはアンケートに答えている教師がいない頃に開校では、あまり意味がないのではないかとと思われる。	通学方法や通学区域についても大分前から話があったことと記憶しており、保護者の方々の不安なども聞かれる中、一向に進まなかった理由を聞きたい。 中野市は、数年前に統合を行っており、どうしても、自治体によってこんなにも差があるのかお聞きしたい。
41	20代	いいえ	「自分らしく未来を拓いていく子ども」を目指していくということですが、この構想のままでは「自分らしく未来を拓いていきたい」と思うような子は、市外に流出していきってしまうように思います。その理由説明を、以下に各項目ごと回答します。	中1ギャップが多少解消されること引き換えに、閉鎖的な集団になってしまう可能性が懸念される。今までであれば、中学に複数の小学校からの児童が入学するため、集団が一新され、それを機に新たな友人関係や教員との関係を作ることが出来ていた。それが一貫校になることで、風通しがかなり悪くなり、人間関係を築きたくて市外の私立中などに流出する生徒の数は増加するものと思われる。将来的には、地元しかなかったのに「地元サイコー」のヤンキー化が促進され、学のある児童生徒が市外へ流出する可能性が高い。現時点でも市外への児童生徒の流出が見られ、須坂市はこの傾向があるにもかかわらず、一貫校になればこの事態に歯止めがきかなくなってしまいうらやましい。須坂高校の衰落がわかりやすい代表例である。市政が、「地元サイコー」の層や、市外へ流出できない貧困層、低学力層のことも遠で街づくりをしていきたい、と考えているのなら止めはしない。もしかしら日本の田舎町の未来は、どこもこの道を歩まざるをえないのかもしれない。しかし、その道を勇んで歩もうとしてしまっているこの学園構想には、再考の余地があるものと思われる。住民としては、メリットばかりを主張する基本方針案を出すのではなく、デメリットにもしっかりと目を向けていただき、ベターな案を打ち出していきたい。おそらくベストはない。少子化による学校の統廃合は致し方ないのはよく分かる。しかし、ベターを検討する余地はまだあるように思われる。 突貫で進めず、慎重な議論を進めることを求めます。田舎町の少しでも明るい未来のために、よろしくお願いいたします。	教育現場の先生方に対するヒアリング等は進んでいるのでしょうか？システムとして義務教育学校化や一貫型学校化を進めたものの、蓋を開けてみれば実務と乖離している、という事態にならないかが心配です。現場の先生方がどんな考えをお持ちになるのか、その是非両面の意見を知りたい。流石に現場との議論を十二分にした結果の案だとは思いますが、住民にもその是非両面の意見の様子を共有していただかないと、検討の材料が足りません。市政の声ばかりの案ではなく、赤裸々な現場の声も共有願います。	施設分離型の義務教育学校において、1-4年生と5-9年生で分離する計画のようですが、これでは「中1ギャップの軽減」という須坂学園構想の期待するところは果たせないように思われます。結局4年生から5年生に移行する際に、“5年生ギャップ”とも言ってしまうか、大きな環境の変化が生じてしまいます。また、教員の接続はどうなるのでしょうか？施設が分離しているように思えません。これでは学園構想が期待するメリットのことごとくが、夢物語に終わってしまう気がします。ここを指摘されて反論することができなければ、「学園構想はあくまで少子化による統廃合である。掲げているメリットは体裁や見栄えを良くするための飾りである。」という部分が見えてきてしまうように思いますが…。	もしかすると、このアンケートは形式上「住民らの意見を聞いたうえで進めています！」とするためのもので、この構想計画は半ば決定事項なのかもしれませんが、はっきり言って検討が足りないように思われます。教育は次の納税者を育てる重要な制度です。その仕組みに変革をもたらそうとしているわけですから、慎重にお願いいたします。須坂市が衰えていくことは仕方のないことでしょうか。(産業もなく、観光もなく、小布施のような売り込み上手な政治ができる人材もありませんから)しかし、この衰えるスピードを加速しかねない、人材流出と田舎のヤンキー化、貧困化などを推し進めかねない可能性を多分に含んだ学園構想であることを認識していただきたい。これは教育だけの問題ではなく、今後の須坂市を担う人材に関わる大事だと思います。教育委員会だけで話を進めずに、市政と手を組んで事を進めていただきたいです。。よろしくをお願いいたします。
42	70才以上	いいえ		どうして こんな構想を出されたのかわかりませんが、通学区域を見直さなくても良いと思います。海外の学校は20人学級や15人学級のところもあります。今のこのままが良いです。地域に子供の声がかえなくなりますが、こどもは地域のおとうさん、お母さん、お婆さん達とゆっくりお話ししたり道草したりが大事です。教員を増やしてゆったりと教えていただけるようにして下さい。	小中学校がマンモスになるだけですが。1人1人の個性が発揮されないと。又 小学6年生の役割がなくなり中学生に依存されてしまうような気がします。	あまり期待することはありません。子供は学校はもちろんです。が、地域で育てられると思っています。	通学バス等で通う子供は、時間にしばられてしまう。病気をしたときには近くなら自分で帰れるのに遠くなれば父母が仕事を休んで迎えに行くようになるのではないかと。祖父母も自動車を乗らない、免許証を返納したりすれば、子供の責任は誰がとるのか。近所の人にも遠ければお願い出来ない…等あります。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
43	40代	はい	少子化で友人関係が固定されやすく、幅広い交友関係が築きにくいように思う。保護者もひとクラスの人数が少ないので役員になる回数が増えて負担。登下校はたとえ短い距離でも変質者による危険と隣り合わせだと思うし、スクールバスの運行があれば理想。学校の数が減り学区が広がるなら尚更。スクールバスがあることで、保護者は安心して子供を通わせることができ、保護者による送迎が減ることで働きやすくなる。身体的に障がいを抱える生徒もスクールバスがあると良いと思う。	さまざまな個性や境遇を持った子供がみんな伸び伸びと学べる環境であってほしい。制服(安価であることが必須)があると良い。あとは1と同じ。	1と2と同じ。	学費が高額にならないこと。あとは1と2と同じ。	須坂は坂も多く街灯や人気の少ない道も多い。危険から守ったり毎日安心して登校するためにスクールバスがあるのが理想的。それぞれの親が送迎しているケースも多々あるが、校門周辺に何台も車が行き来するのは危険だし、保護者の負担も大きいと思う。
44	40代	はい			・小中一貫になると具体的にはどのようなことが起こるかわからない、イメージをもう少し具体的に提示してほしい 例: ・PTAの在り方 ・9学年になることによる学校行事の在り方 ・校歌、制服など ・小学校からのクラブ活動への参加は可能なのか		
45	30代	はい					遠くの学区へ通う場合に、送迎バスなどを出してもらえるかどうか。友達と離れるのは親も子も大変なので、学区を選べるようにしてほしい。
46	50代	はい	特になし	特になし	小学生の時に不登校の子が、中学入学を機に戻ってこれていたのが、一貫になると、メンバーが変わらないため難しくなりそう。	特になし	特になし
47	30代	はい	子供達の為の構想ならいいと思う		まだ未就学児と未就園児なのでイメージが湧かない。いい部分もちろんあると思うがいじめなどで加害児童と物理的に離れたたくてもずっと離れられない辛さもあると思う。		

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
48	30代	はい	特になし	教科担任制により、より専門的な教育が受けられることを期待する。 専門分野ならではの指導方法や、専攻分野の楽しさを心から伝えられるのも教科担任制のよい面だと思う。 教科担任制=小学校での担任制はなくなる？ 小学校のクラス担任不在で、生活面での未熟さをどうカバーしていくかが課題となるか。	統合する小学校は未来予想図が現実的と感じる。 スクールバスの利用も必要となつてであろうが、時間を守りながら生活する社会的なスキルも身に付きそう。	2頁目の幅広い年齢層とのコミュニケーションをかなえるには、(1)(2)ともに施設一体型の校舎が理想。 社会に出れば、年齢も何もかも様々な人間関係の中で過ごすのだから、せつかく小中一貫にするなら校舎は近接していたほうが関わる機会を作ることも容易。 実際、小学生の子が高校生とした共同授業はととても評判がよかった。 一方で、統合した生徒を集約するほどのキャパシティが、現在の校舎にあるとは思えず、新設する際の予算は…。	移行期の児童生徒・保護者の不安は強いと思う。 少人数学校だからと新たな取り組みを先行して導入されることが多く、実験的でわからないことも多い、と保護者から聞いたことがある。 今回も少人数学校からのスタートとなっているため、メリットを実感できる説明・活動をして、先行導入での負の感情を少なくしてあげること、メリットを感じさせてあげることも大切かと。
49	40代	はい	園小連携、小中一貫教育賛成です。 先生が毎年変わるの、関わる先生が長く沢山いた安心だと思います。 現状クラス数も減ってきているので、中学へ行くときのハードルが無くなるのは嬉しい。	学校規模が大きくなることで、色々な人と関われる事が増える事を期待します。	教育の中でも小中の関わりが持ちやすくなる事に期待します。 勉強面や地域見守りなど安心感が増える。	小学校も、教科専門の先生に教えてもらえる事を期待します。 先生方の負担も減るのではないかと思います。	地域により通う学校が遠くなる可能性がある一方で、遠い地域は自転車通学を学年齢によりありにしたい。 体力がつくので自力で行けたら嬉しい。
50	30代	はい		再編され、新校になるということで学校名はどうなるのか、どの学校も素敵な名前が歴史があるので寂しいなと思います。	中1ギャップの軽減と言うのも理解できるが、幼稚園から出たばかりの小1には中学生は心も身体も大人に感じるので幅広い年齢がうまく関わっていくにはどうしたら良いかというのも課題だと思います。		小学校別で分けるのではなく、現在のように自治体で分けてほしい。 現在も『近くに学校があるのに遠くの学校に通っている』という話も聞くので、小学校ごとに分けてしまうとそのような子供がより一層出てくると思う。通学区域は臨機応変に柔軟に対応してほしい。 防犯面や安全面でも子供たちにはできるだけ登下校にかかる時間を短くしてあげたい。
51	50代	はい	子供の安全 明るく元気に 楽しく過ごせる環境 をこれからも作って欲しい				
52	40代	はい			子供が少ないしいいと思う。		通学方法がどうなるのか不安

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
53	70才以上	いいえ	今までの「須坂市がめざす子供の姿」「めざす学校」とはどういうものであるのか、又どういうものであったのか、その具体的な説明が必要ではないか。学園構想(案)で新しく変わるものではない。市民に提言書、答申書を公開してほしい。構想ありきの姿・めざす学校ではだめだと思ふ。もっと市民に深く、広く、時間をかけてつくってゆくべきだ。	急に期待すること、課題を聞かれても答えようがない。小中一貫校・義務教育学校といわれても理解する市民は少ないと思ふ。回覧板のみで、どうのこうのといわれてもあまりにも拙速すぎる。又、中一ギャップについても軽減出来る説明しておるが、国立・教育研究所では一貫校になったからよくなったという結論が出ていないと聞いている。構想ありきのメリットの羅列ではだめだ。	今まで、従来の須坂市の教育では、メリット・デメリットがあったのか、市民に説明すべきと思ふ。構想のデメリット等は市の方でどう考えているのか聞きたい。小中学校は歴史的にも地域コミュニティの中心という性格を持っている。地域住民の十分な理解と協力が必要であると思ふ。市にはその視点が欠けている。	前項でも述べたが、義務教育学校、小中一貫校とは何ぞやの説明が全く不足している。メリット・デメリットが必ずあるはずである。それで期待すること、課題を聞かれても答えようが無い。開校ありきの調査に思える。教員不足の問題・原因等教育に直接たずさわっている先生たちの思い等も聞くべきだと思ふ。	スケジュールがあまりにも急すぎる。市の合併問題以上の課題であるにもかかわらず、軽く考えているのではないか。インター周辺開発一方で旧商店街の大変さ、一方で過疎問題、もっとじっくり腰をおちつけあせらずに市民と充分共有し、より住みやすい須坂市をつくってゆくことが必要であると思ふ。
54	70才以上	いいえ	2024年10月に回覧板で、新しい学校づくりだより①が回覧されました。新しい学校づくり基本方針(案)の作成を進めています。と記されておりました。市民の皆さまに、これまでの経過や小中学校の現状、基本方針(案)検討の方向性などについてお知らせしていきます。と記されておりましたがこれでは、既に須坂学園構想を実施するのがよいかどうかと市民(私たち)の意見を聞くものではなく「市で決めたものについて意見を聞いてあげますよ」との市の姿勢しか見えません。学校の現状は様々な問題をかかえている。ということはよくわかりますが、須坂市では、現在の学校の状況からこの様な構想のもとに将来に向け検討しているのだと説明が必要です。	期待すること、課題だと思われるということ聞く前に市がこの構想を作成するまでの経過の中に市民の声を聞くということがぬけています。審議会のメンバーを公表して下さい。広く市民、現場の教員も交えての審議がなされたのですか?メンバーの公表、内容(くわしい)などを公表して下さい。ネットでは岐阜県山県市のとり組み状況がくわしく出ていますが、須坂市でも市民に広く伝えて下さい。	市民の意見を聞いてのことだと思ふのですが、この構想実現ありきのアンケートなのか。私の記憶では、市からの回覧2・3回でした。私は現在のところ子どもたちが地域で学び、育ち、地域の大人とかかわりながら、生活が出来る様にするのが大切だと思ふのです。このアンケートは、構想について私達がどう思ふのか聞くものであって、市の提案する小中学校を作るためにどう考えるのかではないです。ね。	(1)(2)の学校に期待や課題がないわけではありませんが、そこに私が至るまでには、小中学校の現場での子ども様子(中学校では子ども達があれている状況があるとも聞きます。そして現場で何かあった時には、先生達の間で解決が出来ず、警察に通報されるということがあるとも聞きます。私たちが、義務教育を受けていた時には考えられないことです。開校をめざすのであれば、子ども達の現状をよくみてどうすれば良いのか、教育の現場で話し合うことが必要です。なされていますか?	スケジュールについては、今日構想計画が出されるに至った2020年2月から答申案が2023年にまとめられるまでの「学びのあり方検討会議」の経過、話し合われた内容、そして「検討会議」の構成メンバーを明らかにして下さい。会議の構成メンバーの中に現場の先生方が入れることが、重要だと思ふのです。入っておられますか?
55	40代	はい	9年間義務教育一貫校になる前に、子どもたちが卒業してしまうので関係はなくなりますが、9年間一緒と言うのは子どもたちにプレッシャーを与えてしまうのかなとも感じます。うちは、小学校は地元須坂で中学は長野市に通っています。視野が広がり、子どもも伸び伸び育っています。子どもたちが学園を選択し、選べるようになれば、親としても安心して小中一貫校に通わせられると思ふます。	通学区の遠い方はスクールバスが無料で出るのか、方が一転校した時に制服はどうなるのか、リボンやネクタイだけ変更すればいいなどの対応があれば助かると思ふます。	9年間一緒は嬉しいと思ふ反面、友達関係で合わなかった時はどうするのか悩む。		スクールバスの無料で運行できるか。
56	40代	はい			不登校児が通える場所もしっかりと考えてもらいたい。いじめなどの理由で転校ができる、こともあっていいのではないかと思ふ。		兄弟がいるので、兄弟で通学区域がわかれないうにでもらいたい。同じ学校に通わせてもらわないと困る。通学区域の変更は早めに知らせてもらいたい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
57	40代	はい	一貫して学べるのは魅力的だと思います。子どもが少ないので今後学校が廃校になり統合されていくものだと思います。ですが現状に満足しているのでめざす学校と提示されても理解しがたいのが本音です。	一貫になり学べることも多いと思いますし継続して子どもをみていただけたらと思うといいなと思います。ヒューマン・エラーは必ず起きるものです。メリットデメリットを考えた時にメリットの方が大きいのでしょうか？	9年間を充実した学校生活を送れる確証があればいいですが現実問題、人間関係に悩むのが人間です。全員が充実した学校生活を送ることは困難であり先生方の努力で賄えるものでもないと思います。学校というものが嫌になった場合の受け皿はあるのでしょうか？	年齢幅が大きくなり小さい子は大きな子に刺激を受けると思います。大きな子が小さな子と触れあう機会が多くなるとも思います。いい影響を互いに受けられれば本当に素敵な学校だと思いますが、その反面を考えた時に恐怖も感じます。大きな子からの影響が小さな子に悪い面で影響することは全くないとは言いきれないことが恐怖です。	近年、犯罪や不審者が増えてるなか登校距離が遠いと過保護かもしれませんが送り迎えをしたいというのが親の本音です。女の子の場合は特に送迎をしたいと思います。児童クラブの利用をしたとしても休み期間の開校は8時。送迎をすると就業時間には間に合いません。児童クラブの開校時間、登校時間等を検討してから通学方法、通学区域を振り分けていただきたいと思います。
58	30代	はい	未来を考えての方針だと読み取ったので、推進してほしい。		不登校の減少が期待できる根拠を示してほしい。もう少し具体的な例などで話してほしい。小中一貫教育で期待できることについて、実際に須坂の子どもと接している先生方はどう感じているのか、どんな期待をしているのか、聞きたい。現場の声は大事にしてほしい。		
59	30代	はい		少子化で一校あたりの生徒数も減っていき、校舎を減らす事で教員数の効率性も上がるものと思いますので良いと思います。	開校する校舎の場所や予算などが課題だと思います。	閉校する校舎が大量に出る予定ですが、その事について一切書かれていないので、閉校する校舎を今後どうするのか広報していただきたいです。	
60	30代	はい				第一学園は既存の校舎を使うのに、第二から第四学園は新しく開校するということの理由が知りたい。通学の効率性などで全生徒の効率が良い場所に新しく開校するにしても、そんな丁度いい場所に開校できるのか。もし中途半端な場所に開校してしまったら、既存の校舎を利用すれば良かったなどの意見が出るのではないかな。	

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
61	70才以上	いいえ	1 小中一貫教育を進めてほしいと願っています。2趣旨に、「幼児教育からつながる小中一貫教育」とありますが、幼児教育からつながることを大切にしているのはなぜでしょうか？幼児教育が大切にしている非認知能力の高まりを、小中の連続性の中で重要視することが、須坂市の特色ある一貫教育だと思います。もう少し強調していただきたいのですが、いかがでしょうか。3「めざす学校」の2番目の●の多様一と友と一と地域一が一文の中でどうつながるのかわかりづらいです。多様な、は、3番目の●のお互いを一、とどこが違うのか、わかりづらいです。ここは、めざしている学校像が鮮明に分かる表現にしてほしいです。	第二学園には須坂支援学校が入っています。この学園には、これからやってくる共生社会の地域の拠点」という言い方は考え直す時期にきていると思います。この事は、教育委員会だけでなく、公民館や自治会も含めて、もっと幅広い視野にたって考えていかなければならないことではないでしょうか。	通学区域の見直しにより、現在の地域と学校の関係が変わらざるを得ません。「学校は担い手を育む学園としての特色を持たせていただきたい。カリキュラムの中に特色ある活動を取り入れてください。	はじめにこの構想を知った人ために、須坂モデルの概要だけでも載せてもらえるとありがたいです。発想の根幹の部分が併記されると、常にそこに戻れるからです。	
62	60代	いいえ	立派な趣旨にみえるが情報化、国際化に関して後述には全くない。唯一少子化による規模課題解決で子供の課題ではなく市教委の課題子供問題は後回し	市教育委員の方々が提言によって自己保身するための構想に思える。須坂らしさがない。少子化を目先統合によって逃げようとしているだけで構想は子どもより職員に配慮したとしか読み取れない	目新しさが何も無い。小学生に中学生と同じように。中学校へ通わせようとしているだけ。小学校を中学校の分校にしているだけの現状維持構想。統合するならもっと大胆な特徴ある統合案が望まれる。	中1ギャップを例に挙げているが環境が変わることを望むものもいる。詭弁。逆に心配なら小中高一貫校も検討すべき。義務教育にこだわる必要はない。職員や政治側の問題で子供の問題ではない。	1 第一学園以外の後回しで喫緊の課題に目をそむけている。また、全体的に先延ばし 2 第二学園準備が直面する課題でほかにも少子化による課題がある学校や通学区を見直す必要がある学校、年代別通学方法 徒歩自転車スクールバス電車の選択はもちろん、通学の自由度による学校選択距離ではなく通学容易制配慮も考慮すべき 全寮制のような試案があってもよいのでは
63	30代	はい	年々子供の数も減り、今年下の子が入学したクラスは一クラスで15人で、人数も少な過ぎて、やはり活気も少し欠けてたり、六年間クラス替えのないものどうなんだろうと思ってました。今回の構想については賛成です。				学区は分けるとしても、一年生が登校班で歩ける距離も限界があると思うので、バスなどがあつたりすると助かる地区の人も居ると思います。また学童はどこでの預かりになってくるのか気になります。
64	40代	はい			保護者や子どもの人数が増えた場合、駐車スペースは確保できるのでしょうか。引き渡し訓練等で保護者ではなく祖父母が迎えに行く場合、迎えに行く場所が分かりづらくなってしまうのでしょうか。		
65	60代	いいえ			友人関係が9年間固定される可能性があることが心配です。事情がある場合は、別の学園へ転校できるような柔軟性があると良いと思います。		スクールバスのサービスの充実が必要だと思います。
66	40代	はい	「自分らしく未来を拓いていく子ども」にしていくために、小中一貫教育として幅広い年齢層とのコミュニケーションがとれて良い部分もあるが、友達とのコミュニケーションがとれない(苦手)な子が増えている中でどのようにコミュニケーションをとっていくのが不安である。大人数が苦手な子、得意な子といる中で、しっかりとしたバックアップ体制が取れるのか？	コンパクトシティということで学校環境をコンパクトにすることは良いと思います。節税に繋がっていただきたい。	まずは教育の中身。いま現在の学問が果たして社会に必要なか？一貫教育はとも良いと思うが、その子が得意な事を伸ばせる環境を作っていただきたい。	施設分離型と一体型という別の枠組みにする必要があるのか？同じ人生経験ができるのだろうか？開校してみてもどちらが良いかテストをするように感じる。	課題はどのタイミングでも同じだと推測しますが、6~7年後にどれだけの数の子どもがいる想定なのか記載していただきたい。何故6~7年後の想定なのか？

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」 「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
67	30代	はい	抽象的な表現や目標でイメージがしにくい。実際にその目標に対してどうしていくのか具体的に説明がほしい。	新たに編成するメリットがいまいち分からない。もっと子供達にとって明確なメリットを提示して欲しい。	小中一貫にする事がなぜ学力向上に繋がるのかが明確でない。 新校舎によっては通う距離が遠くなるというのは、スクールバスが出たとしても子供や家族の普段、心配に繋がるんじゃないか。	中一ギャップという言葉が説明文の中にあっただと思うが、小中一貫にする環境の変化があまりない様になるのが、ある意味その環境の変化が子供が大人になる為の成長にも繋がると思っているから、変化から子供を守り過ぎるのもいけないと思う。 もっと違う視点で子供達の為になる取り組みをした方が良いのではないか。	スケジュールに関しては何とも言えない。既に開催されていたら申し訳ありませんが、市民に対して説明会のような物を開催した方がいいのではないか？ 通学方法や学区の見直しもちゃんと質疑応答をしてからのの方が市民の理解を得られると思う。
68	40代	はい			防災教育で、小中合同避難訓練や引き渡しなどが行なわれていたのですが、学校ごとに避難所や避難の仕方が違うので、どう対応していったらいいのか気になります。	第一学園についてです。4年生まで高甫小学校を使用との事ですが、児童会活動は基本的に6年生の委員長や委員たちが後輩達に教えて繋いでいくのですが、4年生からいきなり委員会活動の中心として、放送当番などをするのは大変だと思います。 また、運動会、音楽会はどちらの校舎での実施となりますか。1から6年生までの通し練習はどのような形で行えますでしょうか。 子どもたちにとって、手厚い教育を受けさせたいのですが、学校が統合すると、先生方の人数は減るのでしょうか。先生方が減ると、少ない人数で授業となれば、手厚い教育の面が気になります。	通学区ですが、進学予定の学園と隣の学園との境界にある家庭は、どちらかの学園に進学できるか、家庭の申請によって選択できるといいのではないかと思います。
69	40代	はい	小と中で切れ目なく学習が継続することを目標とすることは良いと感じる。	小学校で通学する中学がきまるのではなく、住んでいるところによっては近い学校に通えるように、選択できると良い。			かなり時間がかかるように思える。
70	60代	いいえ	(案)を見ただけではわからないので、保護者説明会、地域説明会で多くの市民にわかるよう丁寧に説明してほしい。 めざす学校は、目新しい目標でなく、各校が学校目標としてそれぞれにやっていることとかわりない。 須坂学園構想も小中一貫教育も必要ない。今ある学校を大切に、ひとりひとりを大切にしたい、自分らしく未来をひらいていく子どもの教育をしてほしい。	通学がたいへんになる。歩いて通えるところに小学校があることがよい。 子ども達の意見をしっかり聴くことが大切です。子ども達の声を聴く方法を教えてください。	須坂がめざす学校は、小中一貫教育でなくても小中教育の連携で十分できるので、今の小学校をつぶす必要はまったくない。 学校施設の費用の削減、教職員の削減など財政削減ではないのか。	(1)(2)のデメリットや、全国で先行して実施している学校の課題も示さないと、保護者、市民は判断できない。	この計画は、まったく心配、やめてもらいたい。1～4年生だけの学校なんてうまく行くとは思えない。児童会も行事もできないのではと心配になる。 5～9年生の学校も今まで小学校の最高学年としてやってきた、6年生が活躍する場がなくなる。 すべて通学条件が悪くなり、やめてほしい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
71	50代	はい					この学園構想計画は十数年前に検討を開始すべき内容です。あとわずか数年で地域に子どもがいなくなる現状において、このタイムスケジュールは理解しがたいものです。須坂市の子どもたちには「中1ギャップの解消」「幅広い年齢層とのコミュニケーション」「小学校での教科担任など柔軟な教育活動」が必要であることが分かっているが、第二学園開校が12-14年後まで、第三・第四学園はさらにその後というスケジュールを見て衝撃を受けました。規模適正化による恩恵を受けられる子どもと受けられない子どものギャップが十数年間もあるなど信じられません。現時点で少人数の学校は学園構想にこだわらず先行して統合することを是非検討してください。
72	60代	いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須坂市適正規模等審議会に、公募の委員を募ることなく、須坂市教育委員会が推薦する委員のみで審議してきたことは良かったのでしょうか。他の多くの審議会・検討会議では公募の委員を募って色々な意見を聴きながら検討を重ねています。</li> <li>・山県市は統廃合が出来なかったのではなく、適正規模等検討委員会を子どもを主人公にした審議を重ね、地域の教育力を最大限に活用することを考えて、統廃合をしなかったのです。須坂市の検討会議は、各地域に小学校が存在する意義を十分議論することなく、再編ありきで答申を出し須坂学園構想案をつくったと考えます。山県市の適正規模等検討委員会の答申をよくお読みいただければと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長も市長も須坂学園構想は財政的な理由ではないと発言していますが、1月の市長の定例会見での教育委員会の「35年前は小中生が7000人いた。今は3600人。12年後は更に1000人減る見通し。学校数は変わっていない。今までと同じ規模で学校を更新していくことがいいことか？新しい学びの場を用意していく」との発言や市長の「須坂市は他の市と比べて小学校の数が多し」などの発言を考えると、子どもファーストと言いつつ、財政的なことを考慮した学園構想と考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5・6年で全て教科担任制にした学校では、1ヶ月で理科や音楽などを中心とした部分的教科担任制に戻したという事例があります。教室に担任がいないので、子どもたちとの関係ができない、事故や事件が起こった時に対応が難しい、当番活動・宿題・提出物など把握が難しい、学級で話し合っってルールを決めるなどできにくくなり学級が荒れる、担任のきめ細かい指導や学習ができないなどが理由です。小学校では通常、担任が子どもの様子を見ながら、一日の生活と学習を組み立てていく。実態に合わせて臨機応変に対応します。ここに小学校教員の専門性があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校や小中一貫型学校のデメリットとして、場合によっては9年間同じクラス、1年生と9年生は身体的にも精神的にも大きな差がある中で一つの学校で学ぶことには無理がある、グラウンド、体育館など施設の利用が制限されるなどがあります。また、義務教育学校や小中一貫型学校にすると、不登校が減る事実は検証されていません。かえって学校規模が大きくなると不登校が増えているのが実状です。いいことばかりでなく、デメリットも示して保護者説明会・地域説明会を丁寧におこなってください。</li> </ul>	信濃小中の先生、保護者からは、「スクールバス通学によって時間に追われる生活になった」「今までは地域の人が『いつてらっしゃい』『気を付けてね』など交流があったが、スクールバス通学になって地域から人が消えた」「学校の行事で出番が少なくなって、特徴もなくなった」などの声が上がっています。よって小学校は歩いて通える距離にあることが望ましいのではないのでしょうか。
72	同上	同上		また、学園構想は、その学校区に住む地域の人々が共通に語り合える土台が失われることを意味します。子どもの数が減っているからこそ、未来を担う子どもたちを、学校と地域で大事にして育てていける須坂市の教育を望みます。 ・学園構想にする理由のひとつに、小規模校では社会性が育たないということがあげられていました。学校とは地域の中にあり、そこで学ぶ子ども達、彼らを教える教師、地域の人々を繋ぐ結節点です。今ある地域に開かれた小学校を大切に発展させていくことが、子どもの豊かな体験と社会性の成長を保障する道ではないのでしょうか。	教科の専門性で授業をする中学校教員とは違うと考えます。 ・「中1ギャップ」を取り除こうとして、小中一貫教育は十分に成長しきれない「幼い」中学1年生を生み出す結果になって いると教師や保護者から声が出ています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの議論の中で、小規模校は先生方が大変だということが何度か言われていましたが、調査では、小規模校の先生方より適正規模以上の学校の方が時間外勤務が長いという結果が出ています。</li> </ul>	

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
72	同上	同上		・検討会議で豊丘小学校を視察したが、委員からは「授業を受けるという点では、小規模校のデメリットを感じることはなかった」との意見が出されています。	・可能なところ、必要なところで小中一貫教育をすることはメリットもあると思いますが、小学生と中学生では発達段階も大きな違いがあるので、一つの学校でまなぶことはデメリットが多いと考えます。行事、時間の流れ、学校生活の仕方などデメリットも示して、保護者説明会・地域説明会をじっくりやってください。		
73	60代	いいえ	めざす学校の地域とともに歩む学校について地域が広がるため、自分の町の歴史や特産などについて、今より学ぶ機会が少なくなるのではないかと			高甫小に1～4年まで、東中5～9年というのは不安。やはり、1～6年までを小学校としてほしい。リーダーを育てるためにも。	通学にバスなど利用すると、送迎の問題時間が、放課後など制限されること、お金の問題など心配。遅刻・早退も自家用車で遠くまで行くことになる。
74	40代	はい	PTA役員は、9年生からだしてほしい。	先生の負担軽減となるのは、よいとおもう。いまのように、支援学級を各学園に置いてほしい。授業内容はしっかり、充実させて欲しい。		私立に行く人が行きにくいようにしてほしい	2キロを超える場合は、スクールバスを出してください。
75	40代	はい	現在、通っている小学校は特に生徒数が少ないです。全生徒が学年関係なく交流できている、他学年の先生も良く子供たちを認識して下さっていることなど良い事もあります。逆に通常学級以外の生徒も増えていることから先生の人数が足りていないということを感じます。そのようなことから、学校をまとめることは今後必要かと感じます	通学方法が心配です。田舎です。暗くなった時など特に危険を感じます			
76	30代	はい					早急に対応してもらいたい。私達が住んでいる地域の学区の再編は今から6から7年後、さらに6から7年後第2学園の開校後であるため今保育園に通っている子ども達には正直関係がない感じが否めない。近所に子供が少ない状況で小学校で過ごし、中学、高校へ進学した際のギャップに馴染めるのが非常に心配。明確な再編時期の提示を早急をお願いしたい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」 「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
77	30代	はい	基本方針は良いと思うが、具体性がない	第4園まで必要なほど将来子供がいるのか？ 建物の維持費もかかるので建物をしぼって、施設を充実させれば良いと思う 通学は小学生はスクールバス(公共機関は乗り慣れないと思う)、高学年や中学生は路線バスの利用(補助金有り)などで通学すれば良いと思う。 路線バスを利用することでバス会社にもお金が入れば、設備が整ったり本数を増やすことができ、市民の利用も増えるかもしれない 小学生から教科担任制なら、知識のある先生が教えてくれるので良い		義務教育学校、小中一貫型どちらでも良い。 校舎が近ければ、教科担任制になっても先生の負担が少なく済む 子供たちも通う距離が変わらないので負担が少なく良い 兄弟で小学校、中学校と分かれていても親は助かると思う	案は良いと思うが、開校するまでが長すぎる 自分の子供は関係なくなってしまうので、今の過疎化した環境で学ばなければならぬ 少人数は良い点も多いと思うが、少なすぎるのは成長に良くないと思う 子育てしやすさで推したいのであれば、今の時代からどうにかすべき 2年も会議を開き、出した結果がこれではガッカリ 須坂市で安心して子育てしたいという気持ちになれない 具体性のない税金の無駄使いはやめてもらいたい
78	30代	はい					豊洲小区域でも少子化がかなり進んでおり、今の5.6年生がいなくなると登下校も低学年のみかつ少人数のところがあります。スケジュールをもっと早めるか、もしくは仁礼地域と同時期に豊洲地域も進めてほしいです。
79	40代	はい	不登校、学校に通いたくても通えない子などが増えています。そのような子たちの受け皿になるような施設(フリースクールなど)もあわせて整備してほしいと思います。現在、そういったお子さんを持つ保護者は、通学する手段、どのような施設が現在あり、どのような子どもが通えるのか、どのような支援を受けられるのかといったことがわからず不安があるとよく耳にします。さまざまところに相談せずともまずは市のホームページなどを検索すれば簡単に情報がとれるように、現在の状態をわかりやすく明記、整備してほしいです。 私自身も子どもが学校に通えない時期に大変困りました。学校ではいろいろと紹介してくださいましたが、やはり一覧になってないと見やすくなく、比べることも難しいです。子どものことで色々不安がある保護者だとなおさらです。 須坂市のホームページ及び各学校のホームページは旧型のかなり見づらいホームページです。その中から必要な情報を得るのは難易度が高いので、ぜひ改革願いたいです。				

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」 「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
80	60代	いいえ	・大賛成です。期待しています。		・小中一貫教育で実現しようとしている教育方法は、「義務教育学校」や「小中一貫型学校」が出来なくても今すぐにも始められると思います。現在の小学校と中学校の切れ目ない教育連携がどのように行われているのでしょうか。これが理想とギャップがあるのであればそれを提示し、対策を具体的に示していただきたい。 ・上記とダブりますが、いまの体制、環境ですぐに出来ることと、入れ物を作らないとできないことを分けて、今出来ることをスタートして課題を潰していく必要があると思います。	・須坂市教育委員会の方針は文科省や県の教育委員会とどのようなすり合わせが行われるのでしょうか。 ・小中学校の先生方は県内の市町村を人事異動する。従来の体制の他の市町村から須坂市へ異動となった先生方の教育方針や認識と須坂市教育委員会の方針をどのように整合させるのか。 また、校長の教育方針と異なった場合はどのように対応するのですか。 ・本学園構想の基本方針策定のプロセスのなかで現場の先生方の意見や考えが見えない。これらをまとめた資料があれば提示願いたい。	・もっと早いスケジュールで進めるべきだと思います。
81	60代	いいえ	理想的で素晴らしい内容だと思う				地域差が出るのは仕方ない事でしょうが全ては子どもたちのためである事を充分に考慮の上最適な改革を望んでやみません。
82	30代	はい					相森中が小中一貫校になれば、小学生達は相森中まで歩くのですか？6年から中1の卒業式、入学式はどうしていくのでしょうか？
83	60代	いいえ	地域とともに歩む学校と有りますが、今の小規模校の方がより密着した学校運営が出来ると思います。小中一貫校にこだわる必要があるのでしょうか？大きい規模になると児童生徒の個が消されてしまうことも往々にして起きるのではないかと思います。				第一学園の1から4年生と5から9年生を別々の校舎に通うのには子どもたちに負担がかかるのではないですか？出来れば1から9年生は同じ校舎が望ましいです。 児童クラブは今後どのようにになりますか？新しい学園の近くに新設するのか其辺が分かりません。井上小学校の児童クラブは新しく地域公民館と一体の建物に建て替え2028年出来るようですがこれも今回の計画に織り込み済みなのでしょうか？ 須坂市小中学校適正規模等審議会のメンバーの情報が有りません教えてください。 また審議の過程では他にどんな案が上がったのでしょうか知りたくです。 何か小中一貫校ありきでまとめられたように思えます。
84	40代	はい	学校の先生方が、生徒一人一人と向き合い、一生懸命に指導をしてくださっています。先生方がそのように専念できるのは、須坂市の教育制度が充実していたり、方針が明確だからだと思います。市長をはじめ、市の職員の皆様方の努力の積み重ねだと思います。本当に素晴らしい市だと思います。本当にありがとうございます。	少子高齢化と多様性の時代に、様々な年代と関わることは、人生の勉強になり、お互い生き生きする取り組みだと思います。何事も表裏ありますので、良い面を伸ばして、取り組みが前進すれば良いと思います。とても画期的な取り組みだと思います。			寂しい想いですが、やむなしと思います。 ただ、須坂は、歩道が狭く、農園が多いため夕方以降は道が真っ暗なので、遠方に登校する際の安全面に、一段の配慮をお願いいたします。 ・街灯を増設する ・カーブミラーの増設及び、素材を曇らないものにする ・歩道の幅を広くする、途切れているところは繋げる ・徒歩を想定した横断歩道の増設する ・自転車の運転路を設ける など

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
85	40代	はい	小中一貫になるのはいい案かと思いますが、いささか漠然としている部分もあるのでの辺りまで考えて下さっているかを教えて頂きたく思います。 まず、 ・支援の必要な子ども達への対応が手薄にならないか心配。 ・不登校の子ども達や環境及び、人が増える事に抵抗のある子ども達への対応をどうするのか具体的に教えて頂きたい。 自閉症児等は音に過敏な子もいますので……。 インクルーシブルはよいのですが、重度知的障害などある場合は限りなく厳しく思います。 ・登下校の際、学校から自宅まで距離のある子ども達への送迎が心配である。				
86	40代	はい		小中一貫校を卒業した生徒が、どんな道に進むのか、今までとどう違うのか、メリットはあるのかなど、この学校に通うことで今までよりも子どもたちが成長できる、学力がつく、ということが分かるように示していたらいいと思います。 メリットがよく分からない状態だと、市外の付属小、市立の小中学校に子どもたちが流れていってしまうのではと心配しています。 せっかくなので、他市町村にも誇れる学園を創ってほしいと思います。	教科担任制や小中の先生が専門性を生かして協力して学校づくりに関われるところが良い。 小学校の運動会や音楽会、中学校の運動会または文化祭は続けて欲しい。それ以外の行事については、減らしたり合同で行ったりするのいいと思います。 参観日は小中同日に行うのいいと思います。 PTAの活動を縮小していくことを望みます。	(期待) 今までの学校の歴史や伝統を大切にしながら須坂市の歴史や伝統文化を受け継いでいけるような総合的な学習ができるのいいと思います。将来、須坂市の中心になって活躍してくれる人材を育てるには、須坂市を好きで誇りに思える子がふさわしいと思うからです。	通学方法については、一部の地域だけに負担にならないようにしてほしいです。スクールバスやファミリー・サポート・センターのような送り迎えのサービス、民間のタクシーを市で委託するなど、利用しやすく経済的に負担が大きくなる方法を考えて欲しいです。
87	30代	はい		様々な体験や、人との出会いが多くある環境になれば良いと思う。	一貫にした場合のメリットが弱い。 高校受験対策に力を入れてほしい。	人間関係が、狭く、濃くなりそう。 一度、いじめられたり、こじれた場合に、卒業までの長い間、ずっとそれを引きずりそう。キャラやスクールカーストの固定化の懸念。 クラス替え等、人間関係を良い意味でリセットできる機会が多めだといい。市内であれば、転校しやすくしてはどうか。	バス通学は大変そう。通学区域については、境の地域に住む人は、自分の希望する学校を選べるようになるといい。
88	40代	はい		子供が少ないので、子供達を大事にして、考えて欲しい。			通学が不便になってしまう子供のフォローもお願いします。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
89	30代	はい		進学先の中学校を選択できるのであれば、よいと思います。 (記載あるのに見落としているだけだったらすみません) 今現在、そしてこの先子供達を取り巻く環境は必ず変わります。 約20年前に小中学生だった私では経験しなかったような当時とは違う問題も多々あるかと思えます。 例えばいじめや嫌がらせをうけてしまった場合。 中学生になったら離れられるのと、中学も一緒なので全然違うと思えます。 勿論いじめをさせないことが第一なのですが、大人が決めたそれに従わせるのではなく、大人が作った中で子供がより多くの選択をできる環境を作ることが大切なのではないかと思えます。 また第一学園とそれ以降の学園とで生徒数などの偏りがでないかも心配です。			
90	40代	はい			期待は無い。 9年間同じで、いじめ等があったらどうするのか。学校が近くにあるという安心感が無くなるのは不安。距離が遠くなると少なくとも送り迎えが発生しそう。低学年の時に遠くの友達と仲良くなっても遊べない。 新しい価値観は9年間一緒では出会わなそう。		
91	60代	いいえ	「自分らしく未来を拓いていく子ども」をめざすことと、小中一貫教育が、結びつくことには、論理の飛躍があります。 須坂市がめざす学校と、小中一貫教育との関係が不明です。 小中一貫教育の記述は削除すべきです。	期待できません。 11小学校を、4校に統合すべきでは、ありません。	小中一貫教育の、デメリットも、記述すべきです。	小中一貫教育を、前提にした設問は、よくない。	通学距離・時間が長くなり、子どもの安全が、保障できません。 スクールバスに、乗ることで、地域を歩く体験が奪われてしまう。子どもを、見守る大人の目も届かなくなる。
92	60代	いいえ	「多様な価値感と出える」ことと、学校規模との関係を結びつける、つまり小規模では多様な価値感と出会えないという前提に立っているが、これに対する検証がなされていない。 「友と学び、地域とともに歩む学校」は重要な視点だ。だとすれば、小中一貫教育にすることで、地域から小学校がなくなることは、「地域とともに歩む」条件を欠くのではないか。	市内11小学校については、4校に統合することになる。多くの地域から小学校がなくなってしまうことはよくない。	地域の中で育ってきた小学生が、小学4年・5年・6年と下のこどもと接することで成長する機会が奪われてしまうので、「小中一貫教育」はよくない。 小学校がなくなってしまう地域にとっても、大人と子どもが接する機会がなくなってしまう。	どちらも、小中一貫校であり、小学生の成長の機会を奪い、地域の小学校をなくすことであり、よくない。	小中一貫校自体の見直しと、小規模校存続の可能性を検討すべきだ。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
93	無回答	いいえ			価値観の多様性などと称して、子どもたちに切磋琢磨させるなどとは、本来の学びとは無縁だ。大人の考えだ。ユニセフ調査の子どもの精神的幸福度国際比較では、日本は最低レベルではないか。大人の責任だ。学園構想などでは悪化させるだけだ。それでいいのか？子どもの権利条約を勉強してから出なおしてほしい。		
94	20代	いいえ					学園構想なるものが、学びの須坂モデルの実現に必要な不可欠なら、まず、比較的やり易い第三学園なるものを開校し、その成果を検証してから、他の学園構想に広めても遅くはない。その間、少人数校には、地域・市教委の強力な支援のもと、様々な学びの工夫をしてもらいたい。要するに、住民が納得するような教育行政をしてもらいたい。絵に描いた餅では信用できない。
95	40代	はい		保護者の理解があり、子どもたちが過ごしやすい学校環境になるのかは想像できません。			
96	30代	はい					学校の場所によっては通学時間、距離が長くなりとても不安。
97	40代	はい	旧・新の教育基本法が念頭にあるかな？多様性と多様な価値観をごちゃ混ぜにしていないか。人数を増やしさえすればよいのか？普遍的な価値を身につける、育成することが重要であるのではないか。議論が表面的ではなかったのか。	「須坂市都市計画」との関係は述べられていない。地域・地域というが何も考えていないのではないか。	現状の小・中学校でも小中一貫教育のカリキュラムは組めると思う。中一ギャップの問題が軽減するというが、小学校高学年児童の精神的な幼稚化が進んでしまうのではないか？	小学校で教科担任制が導入しやすいとするが、それは教員サイド、学校運営サイドからの話で、児童サイドに立っていないと思う。不登校問題、いじめ問題等の軽減には役立たないと思う。むしろマイナスだ。	第三学園の開放がなぜ第二学園の開校後になるのか？早目に手をつけられるではないか。小学校の校数を減らすのが目的だからなのか？
98	40代	はい			統合するのは良いと思いますが、建設場所について、地元有力者が多くいる地区を優先したり等が無い事を強く願います。また、台風19号で浸かった地域は避けて欲しいです。		統合する事により通学区が変わる可能性もあるとのことですが、親の送迎が必要になるような事だけは避けていただきたいです。同時に、公共交通機関の充実も図って欲しいです。(松川までのバス運行を復活させて欲しい)
99	30代	はい			旭ヶ丘、豊洲、相森は将来的に人がだいぶ少なくなる、閉鎖的になってしまう懸念があります。		旭ヶ丘、豊洲、相森は将来的に人がだいぶ少なくなる、閉鎖的になってしまう懸念があります。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
100	40代	はい	子どもたちの未来を考え、今この瞬間も子どもたちに携わっていただいている先生方、役所の方々には感謝しかありません。大人の願いが届き、子どもたちが自分らしく生きて行ける未来を期待しています。		東京の国立市在住の甥の小学校は、試験的に教科担任制を行っているようです。先生方の負担の軽減？が目的のようですが、甥は授業がわかりやすく楽しくと言っていました。社会や理科などは成績が上がったと言っていました。小中一貫教育は子どもたちにとって素晴らしい教育になるのではないのでしょうか		
101	40代	はい	子供優先の学園ができるといいなと思います。本当は住んでる地域の学校に行けることがベストだとは思いますが少子化ですので仕方ないと思います。	PTA活動がどうなるのか心配です。できればやりたくないのですがなしにしていただくといいかなと思います。	よくわからない、どうなるのか想像できない。	まだまだ想像がつかない	スクールバス
102	50代	はい	子どもの数が減っているので小中一貫導入に関しては賛成できるが、多大な費用がかかるため、その対応が厳しいのではと思われる。	仲のよい友達と同じ中学へ進学できることにより、不登校の減少が期待できると思う。	小学校卒業後の「中1問題」の改善が期待できると思う。	小学校と中学校の校舎は、教員の移動を考えると、渡り廊下で繋ぐのがよいと思う。	通学時間、距離が長くなる生徒のために、スクールバスの導入は必須だと思う。
103	40代	はい			一貫にすることにより在学中はいいが新しい生活の対応力が乏しくなり、卒業後の対応力に不安を感じる。	一つの学校にすることにより、場所によっては子供の通学時間の負担にも不安がある	通学区域の見直しで、1人だけ変わってしまうことがあった場合に不登校などの原因にならないか不安
104	60代	いいえ	小中一貫教育のデメリットを勘案しながら、統合について検討すべきである。	小中一貫教育のデメリットを勘案しながら、未来予想図を検討すべきである。	小学校は6年で完結し、中学も今まで通り3年間の学習でよい。子供たちもメリハリがある学校生活を送れる。	小中一貫教育は、デメリットを勘案しながら、検討すべきである。他地区の実践をよく見るべきである。	スクールバスで通う子は、どうしても運動不足になりがち、その点も考慮したい。
105	30代	はい					昔の町名での、学区決りを廃止して欲しい。町によって、学校から近い学校に通えないのは、親としても不満である。昔の取り決りを改め、今の時代の考えや取り組みを入れてほしい
106	30代	はい			立地の問題 校舎設立に関しては、新校舎なのか現在の校舎を使うのか。空き校舎が問題になっているので、再利用の目処を建てて欲しい		
107	50代	はい		基本案は理解したが、先生の配置、全国平均の学力は身につけられるように教育内容が分かりづらいのでこれからの検討の深掘りを期待します。	遠方からの通学が必要な子供はスクールバスを利用との事ですが、児童クラブを利用している児童はあまりまとめ過ぎると送り迎えで保護者の仕事都合の時間とか支障が出る場合があるので利用時間の見直し等も考慮して頂きたい。	全国平均の学力を保つこと、人間関係が固定化する事による関係悪化等の懸念があるのでよくよく議論を重ねて頂きたいです。	遠方の児童はスクールバスを検討との事ですが、児童クラブもまとめられた場合、保護者の仕事時間によっては開所時間の変更も(朝も夜も)検討して頂きたいです。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
108	40代	はい	良い方針だと感じました	個人の能力に合った指導を期待します	学力によって、各教科授業のクラス分けをしてもいいと思いました 上記について、下位クラスもできてしまうと思いますが、生徒の自己肯定感を下げさせないことも同時に必要だと思います	9年間を同じ仲間と過ごすのは、子供にとって思い出深いことになるだろうと思いました 逆に、気の合わない友人とも付き合っていくかなければならず、生徒間のトラブルが起きた時は、保護者も一緒に適切に対応しないといけないだろうと感じました	通学区域の境が絶妙な位置にある世帯は、自身で通学する学校を選べたらいとおもいます スクールバス利用は、交通事故や不審者の心配が少なくなるので安心だと感じました
109	30代	はい			メリットがあまり伝わらないので、曖昧な表現でなく具体的なメリットとデメリット、その対応策を周知する機会があればいいと思いました。		通学時間の長時間化や、児童センターとの連携について考慮いただきたいです。
110	50代	はい	めざす子どもの姿、めざす学校は現在も目指している内容だと感じます。現在もこれを目指しているが、今の体制だとなぜ達成されにくいのか？小中一貫にすることで、達成に向けて前進するのはなぜか？が不明確だと感じます。	学校ごとに独自のカリキュラムを編成するため、学校ごとに特色や学習の進め方などに違いがでやすいことが特徴の1つと言われていますが、市内の公立小中学校ではそれは可能でしょうか？		この項目に限らずですが、全体的にメリットばかり書かれていて、考えられるデメリットに対する対策が一つも無いのは何故なのでしょう？ 情報社会で、幾らでも小中一貫校についてのメリットデメリットの情報は手に入ります。デメリットについて何も書かれていないのは、市民に対して不誠実ではないですか？	第一学園の開校から第三、四学園の開校まで、年数がかかり過ぎだと感じます。
111	40代	いいえ					遠くから通っている子の自転車通学範囲の見直し。 現在も含めて。
112	40代	はい	少子化による学校生徒の減少があり地域差も大きいので、良い案だと思う。				
113	30代	はい		子どもたちの心に関わる職員を充実させてほしい。 統合となると、不安を感じる子ども、保護者も多くなり、子どもたちが不安定になるかと思う。その時に、手厚く対応していただけるように、保健室の先生をはじめ、1校以上の人数を配置してほしい。			
114	50代	はい	少子化時代、中高一貫や、統合など仕方がないとは思いますが、通学距離が長くなるので、小学校の低学年や、部活で帰宅が遅くなる時など心配事があります				

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
115	40代	はい	子どもたちのために積極的な改革は良いと思います。		現状のように、小学校と中学校でバラバラになったり区切りがあると、子どもたちの中1の壁というのは確かにあるけれど、もしも小学校でいじめや学校やクラスに馴染めない子がいた場合、小中一貫になったら9年間つらい思いをしないか心配。 中学校で一回リセットされることも、子どもからしたらチャンスになるんじゃないかと思う。		いまの保護者にアンケートをとっても、通うのは自分の子どもじゃないこれから生まれてくる子どもたちが大半なのは？と疑問です。もっと再編や統合を早期に開始するのなら、今の保護者たちも自分のこととして真剣に意見が出るのではないのでしょうか？
116	20代	はい	なんでもよい なるようになれば、と				
117	30代	はい					学校から家の距離が遠い子は スクールバス通学とのことです 通学区域が広すぎて 実際バス登校は可能なのでしょうか。
118	40代	はい	小中一貫校にすることが自分らしさに繋がるのか少しイメージしづらい	各学園が集まる行事、イベントがあれば新しい発見や気づきがありそうで楽しそう。	体格の大きい中学生から体格の小さい小学生へのいじめが起りそうで心配		
119	30代	はい		登下校の距離は大丈夫なのか。支援学級に通っている子の配慮。	支援学級に通っている子はどうなるのか。		距離が遠くならないか。
120	40代	はい	・自己肯定感が育まれた自律した人間になること ・しなやかさ(日野小学校スローガン)を持っていることを盛り込んで頂きたいです	小中一貫教育は教育の効率化や先生方の負担軽減、効率化に資すると思いますので、ぜひ進めてほしいです	生方の負担軽減、効率化に資すると思いますので、ぜひ進めてほしいです	小中一貫教育は教育の効率化や先生方の負担軽減、効率化に資すると思いますので、ぜひ進めてほしいです	適当だと思います
121	40代	はい	全ての小学校が同じ方針で行く考えは良いと思います。	学校を統合する場合、通学の距離の問題があると思いました。スクールバスは欲しいです。	過疎地域で小中一貫校にしたニュースを見ました。須坂市は市として広いので、果たして小中一貫が良いのか疑問があります。		すでに村山、沼目、八重森と墨坂中学校に行くのが遠いです。スクールバス出して欲しいです。
122	40代	はい					学区の見直し課題。一部再考必要ではないのでしょうか。
123	40代	はい				良いことも悪いことも、小学校から中学まで続くため、精神的な負担があるのではないか。	ひとけの無い畑のなかを通ることが増えると思われるので、防犯対策が課題として考えられる

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
124	50代	はい					<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住する町(自治会)によっては、通学する学校が変わる場合がある、という点について、入学して卒業するまでに通学する学校が変わる可能性があるということでしょうか？その場合、入学する時点で、通学する学校を選べるようにしてほしいです。</li> <li>・通学区が変わることにより発生する費用は市で補助してほしいです。例えば体操服が変わる場合などです。兄弟で通学先が変わる場合でもお下がりが使えず負担になります。それか、いっそ体操服の指定は止めてもいいのではないのでしょうか。</li> <li>・第一学園では通学距離や通学時間が長くなる場合、スクールバス等の運行を検討するとのことですが、第二、第三、第四学園についても同様に検討していただきたいです。</li> <li>・通学路の危険箇所についても十分考慮してほしいです。</li> </ul>
125	40代	はい		学校までの距離が遠くなる子供達の登下校の方法。みんなで集まってバスで通うのか等。		違いがよくわかりません。	
126	40代	はい		少子化で出会える友人の数も限られてしまうので、小学校を統合するのは良いと思う。			登校班がまだある学校を見直してほしい。共働きが普通の中、中学まで地域のこども会がPTAと一緒に強制的なのは少子化で役員もすぐ回ってきて息苦しい。イベントは市でたくさんやってくれているのでこども会への参加はもっと自由化してほしい。登校班があると入会が強制的になる。
127	40代	はい	少子化が進むなかやむを得ない。現状を前向きにとらえ教育を考え直すいい機会。	統合は地区ごと行方方法で良いとおもう。	小学生1年から中学3年までの運動性のあるカリキュラムを作成するのは大変だと思う。発達課題を考慮したカリキュラムが必要。	前例がどうなのかやってみないと課題が分からないが、1から9年までの運動性をもつのであれば理想的には義務教育学校がいいだろうが、発達課題が大きく変わる事を考慮すれば小中一貫学校が良いだろう。	良いと思う
128	70才以上	いいえ	子供達の意見や保護者の意見をもっと良くきいて、楽しく学校へ通学できるようにしてほしいです。現場の先生からの声もきいて見てほしい。	もういちど、市民地域住民の声をきいて下さい。期待することはありません。	期待できません。	期待できません。	期待できません。
129	70才以上	いいえ	子どもの自殺が過去最高 日本の子供たちは自己肯定感がとても低い 困った時や悩んだ時、気軽に相談できる人が周りにいることがとても大切。そのために地域の人々と共にいることが重要だと思います 小学6年生は最高学年として児童会を始め 様々な行事を企画運営する中で、飛躍的な成長をします 小中一貫校では その機会を失ってしまうのではないかと思います	地域のあり方が大きく変わる提案なので、理解を深めることが大切 保護者には PTA 総会で説明する計画のようですが、それでは不十分です。教育委員会として場を設けて しっかり 意見交換すべきだと思います 地域住民にとっても重大問題なので、やはり 教育委員会が主催して 意見交換の場を持つべき。	1ページで述べたように、小中一貫教育には反対です		通学路を歩くことで、様々な情報や刺激を得ています 子どもの時しっかり歩くことは大切なので、スクールバス等を使うのではなく、歩いて通える範囲に学校があるべきだと思います

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
130	40代	はい			既に小中一貫教育を行っている地域での(信濃町など)保護者や地域の目線と学校の先生の目線から見た実際の声をこれから構想が進む地域へ発信してもらえると、メリットが伝わったりイメージが湧き安心できるのではないかと思います。これから就学する子ども達の親世代は一貫教育に関わってきていない方が多いと思われると思います。子ども達の当たり前の日常を作る事に精一杯なお父さんお母さんが、安心して子ども達を送り出せるよう、たとえ手探り中でも、デメリットも含め確かな情報収集と事前に十分な準備ができる時間があるといいです。		
131	30代	はい			全ての学校を小中一貫にするメリットは本当に有るのかが疑問です。		
132	40代	はい	子供達減少の為、何か対策しようという姿勢は評価します。				
133	40代	はい	小中一貫になる構想はとてもいいなと思います。しかしながらまだまだ先になりそうなので現実的に思えませんでした。まずは試験的に実行していかないと構想だけで終わってしまうのではないかと感じました。	通学距離について山間部では通学の際にタクシーやバスを负担していたりするため、通学距離がある生徒はそういった手段も検討してほしいです。	とてもいいことだと思います	住んでいるエリアによって不公平が出てしまうため、希望者には他のエリアにも通学出来るようにしたら良いかと思いました。	
134	70才以上	いいえ	子供が歩いて通える範囲であってほしい。	インター周辺の開発が進み、交通量が増えていくと思われると思います。子供達が安全に通学できるようにお願いします。	なるべく少人数で先生の目が行き届く環境を希望します。	小学校生活でうまくいかなかった子が、中学校という変れる可能性を失ってしまうかもしれない事が心配です。	子供達が通いやすい距離にある学校が望ましい。
135	70才以上	いいえ	「新しい学校づくり基本方針検討委員会等を設け」とありますが各等の組織数と名称、各人数の男女比、第一～第四学園から各委員会に入る地域住民の人数を教えてください。諮問機関の長は誰ですか。	スクールバスに乗り遅れた児童はどうなりますか。授業中体調が悪くなり自宅に帰る場合スクールバスかスクールバス等になるのですか。			
136	70才以上	いいえ	現在の各小中学校は存続して下さい。子供達が歩いて通学出来る事が健康の為にも必要だと思います。	井上地域は交通量がふえ日常の通勤、通学等とても困難との話も日々耳にしております。	須高地区での小人数学校を見ても、先生の目がとどき、のびのびとすごしている子供達の姿を見るにつけ、大人数な学園構想には不安を感じます。		歩いて通える学校、友達や近所の人達との見守り等、安心して通学出来ている現在を守ってほしいと思っています。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめがす子どもの姿」「須坂市がめがす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
137	70才以上	いいえ	保育園 小学校は歩いてあまり遠くない所にあつた方が良くと思います。車での通学は事故も心配ですし、足腰の鍛えにもほどほどの距離が良いと思う。仲良く安全に通学する姿はほほえましいです。年寄りにとっても小学校無くなるなんて(地元)故里を無くしたように淋しいです。				
138	70才以上	いいえ	保育園、学校、児童クラブ等は、子どもが歩いて通える範囲が望ましい。お休みの時も、近所の方にお世話になったり、子どもたちと仲好しになれる、地域ぐるみで子育てできる環境が、今程求められている時はない。親も子どもも、孤立しない孤立させない環境を整えることを最優先に、須坂市の「構想」を策定していただきたい。	市が示した構想によると、我家の孫が通う井上小学校の子どもたちは、将来、森上小・井上小・日野小・墨坂中の「小中一貫教育」になるとあります。インター周辺開発が進み、新道が一部開通しただけでも、井上地域はどことも交通量が激増し車の切れ目がないなど、大人も子どもも、「安全に移動」することも難しい状況になりました。子どもたち安全第一をお願いします。	どの子も楽しく学べる学校とは、海外の例をみても、少数で先生の眼がゆき届き、ひとり一人が発言できる、指示や命令でなく、自主的に判断、行動できるように学べる事が大切で、幼少期から激しく厳しい競争にさらすことは望ましくありません。特に不登校や子どもたちの自殺が問題になり、長野県は高い数値になっています。不登校や自殺の根本解決のための方策を示して下さい。	現在学校生活でつまづいた子が、大きく環境が変わる中学になれば、という機会も失ってしまうのは不安です。	上記に述べた様に歩いて通える距離、交通事故のできるだけ心配のない通学路、お友だちや、地域の人たちと十分かかわれる地域に学校があることが望ましいので、示された「構想計画」は乱暴では?と感じました。長い須坂市の発展、歴史の過程で先人のみなさんが最良、最善と築きあげてきて下さった、教育環境に感謝するとともに、大切にしたいと思います。
139	30代	はい		第一学園は、東中と高甫小の2つの校舎を使う様ですが、小5の時点で校舎・環境が変わりますが、中1ギャップのような環境になじめない・不登校のような事は減るのでしょうか?クラスのメンバーが変わらないから大丈夫ということでしょうか?			通学路になるであろう道に街灯が少なく暗い歩道も狭いため、徒歩・自転車通学になるようなら心配です。近年、熊が出たり野生動物をよく見るためバス通学にしてもらえるとありがたいと思います。
140	60代	いいえ	メリットとデメリットをマトリックスでわかりやすく一覧表で示してから、再度、改めて意見を聞き、分析結果を公表されたい。	メリットとデメリットをマトリックスでわかりやすく一覧表で示してから、再度、改めて意見を聞き、分析結果を公表されたい。	メリットとデメリットをマトリックスでわかりやすく一覧表で示してから、再度、改めて意見を聞き、分析結果を公表されたい。	メリットとデメリットをマトリックスでわかりやすく一覧表で示してから、再度、改めて意見を聞き、分析結果を公表されたい。	メリットとデメリットをマトリックスでわかりやすく一覧表で示してから、再度、改めて意見を聞き、分析結果を公表されたい。
141	60代	いいえ	趣旨はすごく良いと思いますが、結局は少子化による地域の人数合わせの様に感じます。		「中1ギャップ」の軽減を強調していますが(中学校までの構想なのではないかと思いますが)「〇〇ギャップ」は他にもあると思います。小学校で教科担任制・中学校の教員が小学生の授業を行えるとあるが、今の教員が忙しいと言われている中で可能なのでしょうか。		第一学園で今後6~7年後までに行うようですが、その前に現在 村石町・明徳町の生徒が常盤中に通学していると思いますが、まず東中学へ通学できる様にしたい方が良いのでは。高甫地域より東中学への道に歩道(車道と区画された)がない所が多数あり、それを解消してからでないといけないと思います。高甫小学校に6年まで行けないのはなぜなのでしょう。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
142	60代	いいえ	コストカットでないならば、今の学校でよいではないか。かえって少数になると子どものことがわかり一人一人に目がとどき楽しい学校になる。審議会でも多様性が大切と言われたが、多様性を認めていないのではないか。先生も多様性あっていいのに須坂市は認めないんでしょう。	大規模化することが本当によいのか。少人数学級、複式学級ではなぜいけないのか。学びのあり方検討委員会でコロナのとき、幼稚園、小学校、中学の先生方みんな効果があがったと言っていたのではないか。それを無視するのか。	どこの学校で成果をあげているのか。その学校名あげて下さい。どんなことがすぐれて効果あげているのか説明して下さい。	小学校はその地域で行うのか、地域コミュニティも育つ。なぜ児童が重いかばんをしょって、バスや遠くからかよわせる必要があるのか。(第二学園)バスでも遅れ、早退などや児童クラブどう考えるのか。	地域の説明は区ごとに話し合ってほしい。区の役員だけとかにしないでほしい。PTAの説明でも、しっかり時間をとってほしい。形式として一応やったというだけでなく、しっかりやってほしい。
143	40代	はい	須坂学園について意見を求められても、説明会などもまだないのに分からないことだらけです。				
144	50代	はい	どう答えたら良いのかわかりませんが、新しい事を新しい事を始めるのは良い事だと思う。新しい事をして出た問題点をすぐに解決して行けるしくみがあって、変わった事による、子供の心の、ケアがすぐ対応出来る場所がしっかりあればその時代にあったあり方でいいと思う。	中1ギャップをなくすのでは、中学になって少し大人になったと思う子供の気持ちや、わくわく感、逆に少し困るけど乗り越えて行くみたいなの、中学になって新しいスタートみたいな気持ちが出来る様に残して欲しい?			学校の選択制。
145	40代	はい			メリットは上級生の良い刺激を受けられるが、デメリットは悪い影響も受けやすい。		低学年が徒歩で通える距離にあるのか。
146	40代	はい	小中学一貫教育とありますが、今後さらに過疎化していき少子化が進んだ場合の事まで考えて頂けているのでしょうか?	我が子が通うことになるかもしれない、第一学園は現在も少子化であり、この先も栄える予測が難しい地域だと思っています(住宅やアパートが少なかったり、農家の家が多いため、若い人が次から次へと越してくるような場所ではないので)先の事も考え、住宅地が多い地域との合併をもう少し検討したほうが良いと思います。現実イメージが欲しいです。幼児、小学生、中学生の現在人数と7年先の人数予想などのイメージを数字でも表して欲しい。それぞれの学園事に。	まず、施設分離型だと小中一貫9年間の意味が無いと思います。理想は一体型それが難しいならせめて隣接型だと思います。分離型になるなら、計画は無しにしてもらいたい。子どもも親も学校行事や負担があります。反対します。	第一学園に登校予定の保護者の意見としたら、本当にやめてもらいたいと思えない。施設分離型だと一貫と言っている意味がない。実行に移すなら施設をしっかりと新築し、スムーズな学校生活が送れるようにできてからにしたい。第一学園がまず初めの実験のようにしか思えない。試しに子どもや親の労力を使わないで欲しい。	一貫教育というなら、施設一体型のみ賛成できます。せめて、隣接型。分離型は無意味だと思います。反対します。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめがす子どもの姿」 「須坂市がめがす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
147	40代	はい		全くイメージがつかず、中学校生活もどんなものなのかかわからないので課題と思うこと等思いつかないのですが、義務教育が新しいやり方で、子どもたちにとっていいものになるのであればいいなと思っています。こういう形にするのであれば、小中一貫、隣接していることのメリットを生かした教育を進めて頂きたいと思います。			学区が広がることで、学校までの距離が長くなるのが心配。スクールバスの運行を検討とあるが、乗車場所、時間によっては親の負担が大きくなるのでは？と心配がある。
148	40代	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申から1年で「構想」をまとめており、さらに1年で方針を決定するところがあるが、拙速にすぎると感じる。</li> <li>・急いでいる背景には、財政負担の点で、小中学校の統廃合が必要だとは思いますが、そういった説明はされないのか。</li> <li>・将来的にますます総人口が減り、子供も減ることは承知している。税収が減り、少ない子供のために10校の小中学校を維持することが市の財政にとって大きな負担になるのも理解はしている。ただし、財政的にどこにお金をかけるかは市全体の政治的な判断が必要であり、教育行政、財政部局だけで決定できるものではないはず。そういった政治的な判断の過程が見えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この通学区域になる理由についてご説明いただきたい。</li> <li>・3ページとも関連するが、「適正規模」であることの確認のための資料として、小中学校それぞれの、学年ごとの学級数、学級ごとの児童生徒数(現在数、今後の見込数)と教員の配置(現在数、本構想の見込数)を示していただきたい。また、幼稚園、保育園についても同様に学級数、学級ごとの幼児数を示していただきたい。幼児がどの程度の規模で園生活をしているか、それがどう変わるかも確認したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に現在とカリキュラムがどう変わるのか示していただきたい。現時点でどういった課題があり、小中一貫教育、新しい学び(須坂モデル)ではそれがどう解消されるのか。「柔軟な教育活動」とあるが、現在と同じ9年間で、同じカリキュラム量で、どう「学力の向上」を図るのか。具体的に示していただきたい。</li> </ul>	義務教育学校、小中一貫型学校のメリット、デメリットを他市等の事例を踏まえて十分に検証し、示していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、第一学園からなのか理由を示していただきたい。2ページに関する意見にも書いたが、第一学園が実験台になるとすれば非常に不公平だと感じる。実施するのであれば、四学園同時に開校することを望む。</li> <li>・登下校の自律 ということも必要だと思う。歩いて通える距離の小中学校に通わせたい。統計で見ても子供の運動時間が減っており、スクールバスになることでさらに減ることが心配だ。</li> <li>・スクールバスの運行計画を示していただきたい。対象となる通学距離、学年、時間帯、停留所等はどうか。子供の登下校に影響が出ないよう、最大限具体的な方策を講じていただきたい。</li> <li>また、全国的にドライバー不足だが、運転手の確保はできるのか。</li> <li>・通学区域の見直しについては、地図上で計測するのではなく、実際に車で走行するなど実態を把握してほしい。</li> <li>・自転車の使用についても、対象となる範囲等を示していただきたい。</li> </ul>
148	同上	同上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本構想検討のきっかけとして少子化があげられているが、子供が減っているのは、子供たちの責任ではない。そもそも、本構想の第一学園の校区および豊丘小は、市内の市街地や勤務地として多い長野市から距離があること、市街化調整区域があり、転入が難しいなど、子供の減少が避けられない要因があり、今後もっと減ると思われる。市全体の人口減対策の検証はされたのか。(教育部局に限らず)</li> <li>・小学校を廃止するわけだが、跡地対策の検討も必要であり、また、避難所等の面もあるが、廃止することで生じる影響が説明されておらず、別途財政負担が生じる可能性もある。このままの状態を続けてどのくらいの財政負担になり、本構想によりそれがどの程度軽減されるのか示していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一学園について、高甫小と仁礼小が一緒になる理由は。なぜ第一学園だけが小中一貫校型ではなく、施設分離型になるのか。一貫と言いながら、5年生から校舎が変わるのはどういった理由なのか。他校は同じ校舎(または隣接)で学べるのに比べて不公平に感じる。</li> <li>・豊丘小だけが東中学校区から除外され、高甫小が常盤中学校区、墨坂中学校区から除外される理由は。</li> <li>・個人的な経験だが、私自身須坂市の小中高校に通い、県外に進学、卒業後地元に戻ってきた。</li> </ul>	「構想」の段階で具体的に示していただきたいのは、この点が明確にならないのであれば、小中一貫教育の初年度がまず「須坂モデル」の実践の場(実験台)になるということ、非常に不安を感じから。例えば、児童生徒の理解度に合わせて丁寧に授業をした結果、小学校のカリキュラムが中学校にずれ込み、中学校でもカリキュラムの消化が間に合わず、最終的に高校受験時に学力が他校よりも低くなるのではないのか。		

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
148	同上	同上		<p>小学校の時に、郷土学習の時間があり、地域の歴史や神社、道祖神、お祭り等について調べたり学んだりする機会が多くあった。実際にその場所へ行くこともあった。自分が育つ地域の中で学び、地域の良さを知り、地域への愛着を育んできたと感じている。本構想は、地域と学校を切り離すように感じられる。地域への愛着が育たず、地元に戻ってくる子供が減ることが懸念される。</p>	<p>・本構想では、第一学園から開講するが、これもまた不平等に感じる。須坂モデルが失敗すれば第一学園の児童生徒が不利に、成功したとしてもほかの校区の児童生徒はその利益を受けられない。</p> <p>・須坂市は幼保小連携ができていたとのことだが、その理由として、幼保がそのまま小学校に持ち上がる(仁礼保育園→仁礼小、高甫保育園→高甫小、井上保育園→井上小など)ことで、環境が変わっても同じメンバーで学ぶことができるという点が挙げられると思う。</p>		
148	同上	同上		<p>・小中学校は避難所になっているが、統合される小学校は避難所としては機能しなくなるのか。代替の施設等は検討されているのか。</p> <p>・学校は学校体育施設である他、社会体育施設(町の行事やサークルなど)の面もあると思うが、使用できなくなるということか。</p>	<p>本構想では、小学校入学時に、クラス人数が大幅に増えることが予想され、まだ心身ともに未発達な児童にとっては、「小1ギャップ」が生じるのではないかと、低年齢の間は、小規模クラスを維持し、教員の目が十分行き届く中で児童が安心して学ぶことが必要だと思う。</p> <p>・本構想でも、1クラス1教員の配置は変わらないと思うが、トータルの教員数は減り、1クラス当たりの児童生徒数が今よりも増える場合、教員の負担が大きく増えるのではないかと。答申では市費で教員(講師)を配置する意見があるが、ぜひ配置していただきたい。</p>		

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
148	同上	同上			児童生徒数を増やししながら、教育の水準を維持・向上させるために、教員の配置も余裕のあるものとしてほしい。 ・この点について不安を感じるのは、須坂市の教育行政は、財政的な問題を優先させているように見受けられることだ。本構想とは直接関係しないが、豊丘小のプール廃止の経過、今後の水泳授業の検討経過では、水泳授業がいかにか不要か、という意見を多く取り上げているが、子供たちの将来を思えば、生きるために必要な水泳授業は自校で実施すべき、という教育方針であってほしい。少ない子供のためにお金はかけない、と言っているように感じた。		
148	同上	同上			・適正規模等審議会に現職の教員が1名しかおらず、現場で教える教員の意見は反映されているのか疑問に感じた。校長先生が多いが、彼らが現場で教えていた頃(児童生徒数が多かった)と、現在の教員が受け持つ児童生徒数(少ない)には大きな差があると思うが、本構想により増える現場の教員の負担について十分に検討されたのか。教員の負担が増えることで、児童生徒に問題が起きた際に対処できなくなり、児童生徒の学びに影響が生じたり、辛い思いをするのではないかと心配している。		
148	同上	同上			・教員の負担を軽減するための働き方改革等について、須坂市はどう取り組んでいるのか示していただきたい。		
149	30代	はい	学年の途中で中学など学校が変わる場合は強制的に変わるんですか？それとも希望調査などして残ったりもできるのですか？				
150	50代	はい			小学校卒業式がなくなるのはさみしい。何かしら修了の式典など設けるのがいいと思います。		施設分離型の対象地区です。東中学校へ通学するにはやはりスクールバスが必要だと感じます。交通量も多く、歩きでは不安があります。児童数の減少を考えるとこれもありかなと思いますが、今の学校体制が変わってしまうのは残念な気がします。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
151	30代	はい			高甫小学校に就学予定の子どもがいるので、この構想に巻き込まれます。1年から4年が高甫小学校、5年から東中学校となる点について4年で区切る意味が分かりません。校内で4年生が最高学年になる子どもにとっての利点は何でしょうか？高甫小学校と東中学校は距離的にもだいぶ離れています。校舎ありきで、子どもにとってメリットがあるように思えません。予算ありきでなく、もっと子どもたちにとって、どうすることがよいか考えていただきたいです。		
152	40代	はい	学校は、子どもが安心して自分を表現し、自分の居場所を見つけ、自分や他者の価値観を認識する場所であって欲しいと願います	様々な価値観を持つ子どもがいて、今、多様な学び方が必要な時代だと思います。特別支援や不登校、ギフトッドなど。小中一貫教育になった時は、どんな子どもも、安心して学べるように、様々な学習方法や通学方法を選択できる学校を作りたい。	小学校と中学校では、先生方の価値観や、子どもに求めるものが違うと感じる。小中一貫教育になった時は、先生同士の意識統一、情報共有など、しっかりやって欲しい。	施設分離型は、施設一体型や施設隣接型比べて、校舎が変わる時の環境変化が大きいと感じる。学校形態、施設形態の違いによる、利点や欠点をもっと具体的に示して欲しい。	通学区によって、施設の形態が違うことは不公平と感じる。また、地域によっては、学校が遠く徒歩通学が難しい児童がでてくると思う。居住する自治会で通学区を決めるのではなく、子どもの希望や学校までの利便性(保護者が送迎しやすいなど)などで、通学区を選択出来るよう、柔軟な対応を考えて欲しい。
153	40代	はい		閉鎖的な教育環境にならないようにしてほしい。市内の学校間の交流もしてほしい。学校によって教育や体験に差が出ないようにしてほしい。	運動会や音楽会などの学校行事はどのように行われるか知りたい。	教育に一貫性があるのは良いと思う。友達や先生とトラブルがあった場合が心配。以前に県外の都会の小学校に行っていたが、クラス替えが毎年あり、心機一転できてとても良かった。1学年3クラス以上ないと、結局閉鎖的な環境になってしまうと思う。	第一学園の場合、4年生までと5年生からで校舎が変わるが、そこで線引きをする理由を知りたい。子供達は5年生になるとしっかりしてくるので、5年生までと6年生からで線引きをする方が良いのではないかと思う。その校舎での最高学年という意識を5年生に持たせることは、意味があると思う。
154	70才以上	いいえ	効率化が前提にあるのであれば、児童生徒、保護者だけに負担を押し付けることになり反対です。「須坂学園方針」は、他に類似しない特徴あるものにしてほしい。	自分も小中一貫校で育ちました。とても良い環境であったことを思い出しました。異年齢での育ち合うことは、とても大切なことと思います。しかし、この構想では地域によって受ける環境が違ってしまいます。その点については、どのように考えているのか？	同上	教育の形、施設の形があるがそれぞれのメリット・デメリットが示されていないので、意見することができません。	すべての地域で同時スタートはできないのか？

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
155	60代	いいえ	現在の校区変更については、保護者などの反発が想像されます。各町の有識者や保護者などの意見を真摯に聞いて慎重に検討して欲しいです。	通学路の安全性を第一に考えて欲しいです。特に日が短くなる秋冬については通学バスや送迎車を仕立て児童、生徒の安全を確保して欲しいです。	小学校高学年からの英語授業を中学教諭が兼務出来るようになって良いと思うが、小中で9年間同じ学校に通うのは、緊張感の低下が想像され、より他地区の私立や公立中高一貫校などに流出してしまう心配があり、それによって須坂市の少子化に歯止めがかからなくなる心配があります。各校の特徴を出して、魅力ある義務教育圏を構築して、逆に他地区からも移り住みたくするような須坂市を目指してもらいたいです。学校毎に特色ある教育方針を作り、校区を超えて通える制度もあってよいのでは。	基本的に義務教育小中一貫校が他地区の現状から鑑みて良いと思う。	現在の小学校の校区を改めて、各町毎に通学区域を検討し見直す。路線バス、学園バス、送迎車を駆使する。準備には最低6年から10年必要と考えます。
156	40代	はい					望岳台から東中学は現実的に遠すぎると思います スクールバス…課題は多いですね
157	40代	はい			高校に進学してもそこに馴染めない生徒が増える懸念があると思います		
158	50代	はい	未来を拓く が大事で良い言葉だと思います。	小中が同じ通学区でスッキリとまとまるのは分かりやすく、良いと思います。	良いと思います。	できれば施設は一体型の方が、まとまりとか、効率とかいった面で良いのではないかと思います。	どうしても通学距離が長くなる児童、生徒が増えることになるので、スクールバス導入は必須だと思います。
159	40代	はい					自宅から距離があるため通学時の送迎等に不安があります。スクールバス等の検討はあるとのことですが個々の生徒に対してどこまでフレキシブルな対応が可能なのか課題かと思っています。 バスを運行しても「指定された時間以外の通学は各ご家庭で送迎してください」となり親の負担が増えるのではないのでしょうか。共働き世帯も多いと思いますのでその点についても慎重に検討していただければと思います。
160	70才以上	いいえ	自分らしく未来を拓いていくことは大切なことです が、小中一貫教育を行うことが、即その様な子どもに育つのか大いに疑問です。 社会性などは、小学校・中学校と順を追っていく中で、世界が広がり成長していくものです。	経済第一に考えての予想図としか思えません。 人間の基本は育った場で育まれる と思います。地域の学校への通学で見たり、人に会ったり、友達と親しい行き来が大切です。 仁礼の上部からの小学校低学年の子ども達が高甫小学校へ。歩くのではなくスクールバスになるのでしょうか。地域で育つ大切な時間を失うこととなります。	小学校の低学年と中学生ではあまりに意識、行動に差があり過ぎます。小学生、中学生の成長にあわせた場での学びが大事ではないでしょうか。	現在、須坂の小中学校の子どもたちの、不登校、いじめ、心の問題など、どんな状態であるのか。それらの問題改善になるのかも考えていただきたい。	地域に根ざした教育と言えないのではないのでしょうか。 バスなどで、遠距離を歩き来し、時には親が送り迎えなど、ということになるのではないのでしょうか。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
161	70才以上	いいえ	自分らしく未来を拓いていく子ども目標をかかげるのは良いと思いますが、具体的な姿が見えず、むずかしくてよく理解ができない。	期待すること 未来予想図を見て正直びっくりしました。え？小学校と中学校が一体に？何故？ 小学校通学区域が広範囲になって通学が困難にならないのか。マンモス化になって行き届いた教育ができるのか。など不安の方が大きくて期待どころではありません。	上と同じ	小学校6年間の教育は、中学校につながる期間として大事な6年間であり、その中での成長を見守りながら、6年生としての責任感や集大成の時期を意識する大事な6年であることを見て欲しいので、一貫型は賛成できません。 小学校で教科担任制導入も賛成できません。	子どもがのびのびと楽しく学校に通える(歩いて通える)地域の小学校を大切にしたい。
162	70才以上	いいえ	須坂学園構想 言葉はすばらしいが、結局は学校統廃合ではないか。小学校を大規模化による悪化、通学路が延びることによる危険など、保護者や地域住民と話し合っていないし、何より当事者である子どもたちの意見が全くなく合意形成が不十分である。学びのあり方検討会議で、コロナのとき少人数(2回に分け)で授業を実施したところ幼・小・中の代表は効果が上がったと討論されたのに、それが生かされていない。	検討委員会、策定委員会是非公開、委員の氏名すら公表しない。 小中一貫教育をすれば「学力向上、不登校の軽減、幅広いコミュニケーションが期待できる。」とあるが、その根拠を示してほしい。委員会が責任をもつのですね。 小中学校の適正規模、適正配置をすれば、学力向上、不登校が軽減するのか。教員の長時間労働や教員持ちゴマなど話し合っていないのに断定するのか。 生徒の楽しい行事をへらしたり、長時間労働(須坂市は60時間、県は80時間～90時間なのに)須坂市はできるのですね。	須坂市全体で「小中一貫教育」カリキュラム組めば学力向上、不登校の軽減し楽しい学校を保障するならば期待します。委員のだれが断定するのかね。 小学校では教科担任制導入しやすいというが、中学教員が小学生授業ができ柔軟な活動できるといいますが、中学の先生でも分きざみで働いている。先生を増やす、持ちコマ数を減らす、労働環境をよくしないと言葉だけで終る。話し合う時間がとれるのか。フィンランドの教育のように専門の先生をおくべきだ。	小学校統廃合し効率よく子どもを集めての小・中一貫は、教員を大幅に減り、児童や生徒の見る目はへり、教職員の多忙化など解決など見えない。一人一人の子どもにしっかり目を向け「楽しい学校」成長を保障できる学校にしてほしい。 なぜ仁礼小をつぶしたり、井上、森上、日野を統合する必要あるのか。少子化でも現想的な学校になるのでないか。 統廃合一辺等はやめてほしい。本当にコストカットないなら存続してほしい。	小学校はやはりかよえる学校がよい。豊丘小、仁礼小、地域コミュニティのために廃校にしない少人数学級で存続し1～4年はバス通学はやめてほしい。事故や病気などで親を利用するのはやめてほしい。
163	40代	はい	大まかな部分はもっとシンプルに書いて欲しい。仁礼小学校と豊丘小学校は廃校になる。とか、新しく取り入れる教育内容があれば具体的に知りたい。例えば海外からの英語の先生による授業が小学校から取り入れられるとか、小学校から中学の様に副担任がつく、など。 プラス部分やマイナス部分も含めて具体的に知りたい。 資料の書き方が速回りで分かりづらく、分かりづらさからとても不安に感じる。 YouTubeでは、真っ先に少子化について触れているが、YouTubeを見ても具体的な事は分からなかった。 伊那市にある伊那小学校や伊那西小学校の様な特色ある学校づくりは分かりやすく、魅力を感じる。魅力ある学校は、地域の人だけでなく、都心からの移住促進にもつながると思う。	仁礼や豊丘は廃校になる様なので、今以上に地域に新しい人が住まなくなると思う。 住宅地の整備などがあれば良いなどと思う。 市として廃校活用にも力を入れて欲しい。 飯綱町の飯綱コネクトやウェストの様な、廃校後も地域や地域外の人が集まる場になると良いなどと思う。	五年生から中学生と一緒にとなると絡まれる事も考えられ不安。自分が中の時の中3だけでもこわい印象があった。 中学受験したい場合に動きにくそう。 (現在、未就学児だが、中学受験を検討しているので一貫になると不安) なぜ、東中だけが五年生から中学の校舎になるのか。場所と人数の問題なら、高甫小を増築するか、広い仁礼小を拠点にするなどして、どうにかならないか。六年生まで同じ校舎を希望。五年生から中学と同じ校舎の良さがあると言おうのなら、須坂市の他の3校もそうすべきではないか。	左記へ記載	スクールバスは必要だと思う。必要に応じて、親の送迎も可能にして欲しい。ドライバー不足が心配。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
164	30代	はい	特になし	PTA活動はどうなるのか。資源回収など、馴染みのない地域での実施の仕方が想像しづらいです。	特になし	同じ須坂市内で義務教育学校と小中一貫型学校の2種類があるが、それによる学力差などが発生しないか	校舎の場所にもよりますが、スクールバスの活用は助かります
165	40代	はい					通学方法区域など変わったとして、その当事者は子ども達なので大人達の見聞も聞いてほしいです。
166	50代	はい			小中と一貫案はいいなあと思います。中学に上がる際、希望もあると思うけど、不安な気持ちの大きいと思ってます。ただ、登校する距離が遠くなってしまうので大丈夫かなと思います。		
167	40代	はい	「自分らしく未来を拓いていく子ども」について自分らしく、を実現するために必要なものは何か。自分の気持ちに気づいて、それを正直に、素直に言える相手と出会えることが大切だと思う。自分らしさは、結局のところ他者との関わりや比較から生まれることも多々あるのではないか。自分が自分を好きで、のびのびと過ごすことができ、そんな自分を認めてもらえる豊かな人間関係の構築、体験をさせてもらえる場所が、学校であると思う。子どもが、学びをつなげ、生きる力を伸ばす学校今の時代における「学び」とは何か？ 近くにいるおとなたちと一緒に学び続けることが大事だと思う。	各学校に特色があり、場合によっては(通学区に関係なく)選べる環境であるとなお良いと感じる。	少子化の中で、幅広い学年と関わりながら生活できるのとても良いと思う。現在推し進められている、学びの多様化学校のような柔軟さを持って、須坂市独自の教育カリキュラムが構築できれば、場合によっては移住者も増えるのでは。	義務教育学校と小中一貫型学校の違いが分かりにくい。区別するほどの大きな違いを具体的に説明してもらいたい。	通学方法や通学区域の見直しは柔軟に行ってほしい。
167	同上	同上	子ども主体と言っても、周りの大人と一緒に学び、生きていくのだから、おとな(先生方はもちろんのこと、保護者や地域のおとな)も含めて一緒になって未来に希望をもてるように、学びをつなげてほしい。子どもの視点で生まれた意見やアイデアをおとなが蔑ろにしたり、自分の価値観に寄せていくようなことをせず、きちんと話し合い、理解し、認めていくことが大切だと思う。が、それはおとな(先生方はもちろん保護者も)に余裕がないと難しい。資源・ひと・時間に余裕のある学校生活が理想。自治体の支援が必須だと思う。				

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
167	同上	同上	子どもが、多様な価値観と出会い、友と学び、地域とともに歩む学校 現在は家庭内の人数も減っていて、学校で初めて多様な価値観と出会うことも多いのではないかと。多くの人と関わり、話をし、自分の世界を広げていってほしい。 いろんな考え方、見方があって、どれも大切なものとして受け入れられるようになってほしい。 そのためにはまず、ありのままの自分を認めてもらえる環境であり、心理的な安心安全が担保されていることが大切。 須坂市には素晴らしい資源がたくさんあるので、それを活かした学びを実践してもらいたい。				
167	同上	同上	子どもが、自分らしさを発揮し、お互いを認め合う学校 まずは自分を認めてもらうことから。 問題行動と思われることの裏には必ず何かあると思うので、教育現場のプロが協力し、アセスメントをきちんと行ってほしい。 学校だけではなく、とにかく、ありのままの自分を認めてもらう社会を作っていくことが大切だと思う。				
168	40代	はい		期間が長すぎる。	小中一環の前に、小学校と中学校の学区割りを見直すべき。		学区の割り振りがあまりにもずさんすぎる印象がある。目の前にある徒歩数分の中学校へ背を向けて、卒業した小学校に割り振られた中学校へ徒歩数十分の道のりを歩かされる子供の身にもなって欲しい。 また、スケジュールに対して期間が長すぎる。
169	30代	はい			構想としては理解できるが、使われなくなった校舎はどうするのか気になる。	小学校の卒業式が無くなるかと聞いたが、小学校課程修了として、何かやってもよいのではと思う。	スクールバスの費用はどのように誰が負担するのか。これまでは児童クラブは学校から徒歩で通えるところであったが、今後はどのようなのか。
170	30代	はい			期待 子どもが少数での単学級での9年間の人間関係よりもたくさんの友だちとより関われる方が良いのかもしれないと思いました。 PTAなどの保護者負担の軽減化課題 同じ敷地などの併設でない、なかなか職員間での連携は難しいと思います。 一貫教育という共通の教育方針、9年間を見通したグランドデザインの元でどのような力がつくのか、まだ疑問や不安もあります。 スクールバスの運営は具体的にどうなるのか		

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
171	30代	はい					スクールバスは必要だと思う。
172	40代	はい	少子化、人口減少が進んでおり、学区編成はやむを得ないと思います。	遠方からの通学をどうするか。教師の配置人数は国の法律で生徒数によって定められているが、条例を制定して人数を増やすなど、検討できないか。児童クラブの対応。	教師人数の確保 学校施設の老朽化 体育館のキャパは十分か？		小学校単位で学区編成を検討されているが、地域ごとの編成にした方がよいと思います。 東側地域は通学距離が長くなるので、スクールバスの運用など検討いただきたい
173	30代	はい				小中連携を大切にするという点はいいと思うのですが、小学校高学年がリーダーとして活動する機会が失われないかが心配です。児童会活動や学校行事の際に小学校5.6年生が下級生の先頭に立つという経験をした状態で中学生になってほしいです。 中学生に頼りっぱなしになる小学生という構図にはならないよう、学校や地域で工夫してほしいです。 またいくつかの学校が一緒になったことでそれぞれの学校の伝統が失われないかが心配です。 それぞれの学校の伝統を残しつつ、新しい学校を築いてほしいです。	
174	40代	はい					仁礼小学区に住んでいます。高甫小までの通学方法が気になります。
175	30代	はい			他学年と交流が好きなのは良いと思うのですが、そうじゃない子も居ます。その場合どういった措置をとるかによっては学校行けなくなってそれが中学まで続くとなるとどうなのかな？とは思いません。		

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
176	40代	はい		毎日の通学に苦労しているの で、通学バスで学校に行けると なるとありがたい。 ぜひ無料をお願いしたい。 今まで関わって来なかった新た なお友達との交流は期待でき るが、中学生で髪の毛を染め たりピアスをあけている学校 もあると聞いた。治安が悪く なりそう。純真無垢な子供ば かりの地区なので悪影響が及 ばないか心配。そういった地 区との派閥ができそうなので 配慮してほしい。	縦のつながりによって得られ る事がたくさんあると思う が、人数が増える事により、 目が行き届かなくなる事も 増えそう。 この機会にランドセルを廃止 し、須坂市支給の通学カバン に変更希望。 南信の方ではもう何年も前か らランドセルは廃止してい る。	兄弟が別の学校にいる場合 の懇談会や参観日、運動会、 音楽会の配慮をお願いした い。	第一から第四まで同時には できないのか。 同時にやらない事による弊 害はないか。 人数が増えるので参観日や 運動会、音楽会などの行事 が行われる時の混雑時、会 場や駐車場対策をしっかりと お願いしたい。
177	60代	いいえ	㊤学校閉校とは統合のこと です。統合により遠くなる ということ。こと細かくの 回答ではなくすみません。 統合している今後未来の 教育が変化していくのは とても良いと思いますが、 山ぞいの学校を閉校にし て遠い学校に通うように すれば更に過疎化が進む と思います。須坂市が何 を目指しているのか全く わかりません。人口を増 やそうと思っはいいない のでしょうか？山の方 では人口減少、空き家が すごいです。学校もな くなくなったらもう、そ こには住む人はいなくな ると思います。ゆっくら んどの、道の駅などの案 も含めて、人を増やすこ とをもっと考えるべきだ と思います。個人的な案 ですが、学園問題ではな いので、これは三木市長 さんに伝えてほしいこと ですが、菅平のキケンな 道を整備、トンネルを作 るなどして、上田から通 りやすくして、ゆっくら んどにつなげるとか、そ こからイオンに来てもら う～通り道になること で活気が出る。人が増 える。学校閉校にしてし まったら、もう何もかも 閉ざされます。絶対反対 します。以上です。				
178	19才以下	はい	賛成です。 ですが、小学校のクラス 人数が今でさえ一桁なの で、できれば早め実施 して頂きたいのが本音 です。 今、人数が少な過ぎて 突然大人数になってか らの子供の精神状態も 不安になります。 よろしく願います。	授業の進み方や登校 方法等がどうなるのか なと思いました。	人数も増えるし、授 業も国語、算数以外 の授業も増えるのか なと期待もあります。	義務教育学校と小 中一貫型学校の違い がよくわかりませ ん。	通学方法は、市の バスや長電バスな 等があればありが たいです。 長電バスの場合 だと、朝の通学時 間だけ便を増や して頂けたりと か、市からのバ スなら自宅から ある程度近い場 所まで来てもら えると小学生 でも子供達だけ で行けたりでき るので嬉しいで す。
179	70才以上	いいえ	旧東地域を一つに した方が良くと思 っています。 東中学校を中心 に、仁礼小学校 及び豊丘小学校 を統合し「小中 一貫教育」にす べきと考えてい ます。	前項の通り。期待 はします。	四中学校を基本 に考えている事 は理解します。 (前項の通り である様願いま す。)	須坂市全体を考 えて、良い事だ とは思っています。	地域住民に、納 得のゆく説明を お願いします。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
180	30代	はい		<p>第四学園が開校する頃(単純に14年後以降)には第一学園の児童生徒数はどの程度になっているのか。</p> <p>実際問題少子化は進む一方なのに、15-20年近くかかるこの計画は長期間だと感じる。開校についてはあまり長期間の間を設けずに速やかに進めていくべきではないかと思う。</p>	<p>中学進学時の生活環境の変化などによりついていけなくなることもあると思います。</p> <p>(自身も小学校では校外学習や遊びの延長のような授業が多かったが、中学校では進路を考え座学の勉強、教科が多くなり切り替えがうまくいかなかった事がある)</p> <p>そんな環境の変化に4-5教育、小中一貫教育でどんな効果があるのか期待します。</p> <p>思春期のあたりは精神的にも不安定な時期でもあり、いじめや暴力などが起こりやすいそうです。9年制だとそれを感じ取ってしまい低学年にとっては悪影響になるという話もあります。</p> <p>4-5教育でも低学年の児童が高学年の生徒に萎縮しないような学校づくりをしていくべきだと思います。</p>		<p>豊丘町地区のような高低差のある道を徒歩1時間は大変辛い。冬期は足元も悪く、暗くなる時間も早い(通学路に店や街灯もなく不安だし危ない)ため、スクールバスを強く希望します。</p> <p>兄弟関係がある場合、開校のタイミングできょうだいが別の学区になる(既にも上の子を通っている中学と下の子の進学する中学が分かれる)という可能性はあるのか?</p>
181	40代	はい	<p>小中一貫教育が、自分らしく未来を拓いていく子どもになるとは到底思えません。生徒一人一人に目を向けて、丁寧に学校教育を行う事で、自分らしさを培い、未来を見据えられる様になるのでは無いでしょうか。</p> <p>地域とともに歩む学校はとても大切だと思います。今後も自分の住んでいる地域を学び、地域の歴史学習や地域の人達との交流が将来の為になると考えます。我が子もまさに今、地域を学び、地域に愛着を持って生活しています。</p>	<p>第一学園だけ、義務教育学校施設分離型なのはなぜですか?分離型だとあまり意味が無いのでは無いでしょうか。説明を方針案にも記載してほしいです。</p> <p>4学園は無理があると思います。どうしてもこの方針になってしまうのであっても、6学園くらいにしないと子供達が窮屈で可哀想だと思います。</p>	<p>9年を一つにまとめるのは、都心などのマンモス校の様に見えてしまいます。マンモス校を経験した事がありますが、デメリットしか感じたことがないです。</p> <p>先生の負担が増える、一人一人に目を配るのが大変、校舎や教室も相当な広さが無いととても窮屈な場所になる、行事も個人の経験数が減る、スケジュールの融通が効かない、自分らしさは発揮しづらくなる、などです。</p> <p>中1ギャップ回避のためだけに、犠牲にするものが多過ぎると思います。</p> <p>小学校の教科担任制は必要なのか?過去に比べ現代は学習レベルが落ちているのか?</p> <p>中学三年生などは受験期に集中しにくくなるのでは?</p> <p>そのあたりの回答を求めます。</p>	<p>モデルとなっている都市や地域があれば知りたいです。</p> <p>またその結果、須坂市が目指す子どもの姿になっているのかも知りたいです。</p>	<p>豊丘小学校は1番最初になくなってしまおうのでしょうか?</p> <p>須坂小に通学するとなっていますが、いつからの想定なのでしょう。兄弟がバラバラの学校になってしまうのはとても悲しいです。</p> <p>またスケジュールも違ってくるので、親の負担が増えるのも懸念されます。</p> <p>第一学園は分離型で距離も離れていますが、行事だけ一緒に行ったとしてもコミュニケーションはほとんど取れないと思います。</p> <p>また、小学校低学年というとても大切な時期に、近くに高学年が居ないと言うのはとても可哀想です。</p> <p>次は小5ギャップがうまれるのでは?</p> <p>今の豊丘小学校は、先生方の目が学年を超えて子供一人一人に行き届いており、親としてはとても安心しています。地域の方とも密に接しており、子供ものびのびと学校生活を送っています。コミュニケーションも全校生徒が兄弟の様に取れており、とても理想的な学校になっております。私としてはこれが目指すべき学校だと思っています。</p> <p>スクールバスは事故なども含め怖いです。運転手の確保も大変だと思うし、乗り物酔いをする子供には不登校の足枷にもなります。</p> <p>時間に遅れた場合は親の負担も増えますし、やはり自分の足で通えるという事に生きる力をのばすという意味があるのでは無いでしょうか。</p> <p>また、9年間を一貫とした場合、私立の中学に行く子も増えているかと思いますが、転校といった形になるのでしょうか?</p> <p>須坂市は、こう言った大規模な改革を今すべき時期では無い様に思います。過疎化が更に進み、地域とも密着性がなくなり、高校生も長野市に流れ、須坂市の未来は本当に子供の為にあるのでしょうか。</p> <p>もっと根本的な事から大切に育てていくべきでは無いでしょうか。</p> <p>以上、須坂学園構想 基本方針(案)に異議を唱えさせていただきます。</p>
182	40代	はい	よいと思う。				
183	30代	はい	<p>豊丘小学校は児童の減少、プールの廃止などで、個人としては以前から統合を希望していました。計画が順調に進んで欲しいと思っています。</p>				<p>遠い場合はバスを出してくださるのであれば特に不安を感じていません。また、児童クラブを各校内に作る必要はあるかと思っています</p>

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
184	70才以上	いいえ	市が目指す「子どもの姿」「学校」という定義に至った検討内容を説明して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東部・西部・南部・北部=学園」とでも命名するのか。まったく唐突的だと思います。</li> <li>・「新しい学校を創る」「現在の学校を順次再編され新校になる」との説明。保護者や地域の方に“学校の統廃合が行われる”という、本質の狙いを隠すための文章ではないのか。</li> </ul>	“中1ギャップ”“教科担任制”など、教育的な根拠として検証されておらず、各々がデメリットについても説明がないのは、“関係者の合意形成”を丁寧に行う姿勢や誠意を欠くものではないでしょうか。	“学校の統廃合”が、“子どものため”を口実にして、進められるのではないのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計を持たない児童が、バスの時間に拘束される事になり、通学条件の悪化が子どもの教育権を侵害し、教育的格差や危険に結びつかないか心配。</li> <li>・地域の日常生活圏である小学校区、住民自治の基礎単位の存続に関わる課題だ。検討内容も非公開で地域の合意形成をまったくしてこなかった。今後どうするのかも示されていない。“方針が出たら終わり”とならない事を願います。</li> </ul>
185	30代	はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何故豊丘小は東中学校ではなく、須坂小学校に行き常盤中学校に行くのか。</li> <li>・豊丘小は1学年10人以下になって何年も経つのに何故今になって対策し始めたのか。</li> <li>・市内の小学校の人数が減ってきてからの動きが遅いと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の仕方</li> <li>・人数の少ない学校と園にいたので集団生活で育てる社会性</li> </ul>			
186	60代	いいえ	<p>基本方針(案)に至った検討経緯(意見、素案等)についてオープンにしてほしい。市民全体の合意形成(納得、コンセンサス)を得るためにも重要なことではないか・・・結果は同じであっても</p> <p>・今後、基本方針(案)についての意見を求められても果たして反映されるのか疑問!</p> <p>◆「住民の声は、最後に聞いてもニーズに十分対応できません。早い段階から対話する営みが大事です」(毎日新聞「1/1号」・・・デモクラシーズ①)</p>		幼稚園・保育園との関係も考慮した検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;義務…&gt;と&lt;小中一貫型…&gt;の違いがよくわからない。したがって、期待、課題にまで考えが進めない</li> <li>・メリット、デメリットの比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僻地出身的な扱いやいじめを受ける恐れがある(子ども、PTA)潜在的な差別にならないよう、学校としてフォローが必要</li> <li>・地域公民館、保育園、自治会の流れをこわさないように行政の枠組と連携した考え方をしてほしい</li> </ul>
187	無回答	無回答	<p>真の民意とは:「住民の声は、最後に聞いてもニーズに十分対応できません。早い段階から対話する営みが大事です」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育とは学校というハード的な考え方でなく、家庭や隣人、地域の役割も大きくかかわっていると思うので、単純にハード面だけの思考でなく地域の関わりや風土も検討要素として含め、考えてもらいたい</li> <li>・単に通学区が変わるということではなく、現実的には地域の連携や保育園(幼稚園)、既公民館の関わりや区(ブロック)のくくりなど総合的に考慮した上での基本方針であることを表現する必要があるのではないか</li> <li>・したがって、基本方針案を策定するにあたっては、検討経過や経緯についても添付してほしい。</li> <li>結果だけ知らされるのではなく、別の意見もあったということを知ること、場合によっては自分と同様な考え方もあったが結果として採用されなかったということを知ること、全体としての合意形成(コンセンサス)を得るという意味で重要ではないか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫型学校、義務教育学校という構想について、幼少連携についての考え方が触れられていない…特に、豊丘では幼少一体の関係も考慮した活動になっているのに</li> <li>・豊丘地域の子供が、須坂小エリアに統合された際に、子どもだけでなくPTAの中においても潜在的な差別意識として、僻地出身的な扱いやいじめをうける恐れがある</li> <li>・特に、旧園里学校に象徴される豊丘地域の教育的風土としての誇りが失われてしまうのではないかとこの危機を抱いている。</li> </ul>	豊丘小に関しては、スクールバスを利用する場合には須坂小へ通学することではルートの分り易いかもしれない。さらに、要望として、該当児童には一般バスの利用もできるようなバスを付与するなどの利便性を高めることは有意義でないか

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
188	60代	いいえ	学校教育の目的である集团的社会教育の入口ということでは、あまりに小人数の生徒では、教育目的がかなえられないと思います。ある程度の統廃合による規模の適正化には賛成です。ただ考慮していただきたいことは、各小学校の歴史、地域特性を考慮していただきたいと思えます。小中一貫9年間には、こだわらなくてもよいと考えます。理由は次項で記述します。	少子化が進む豊丘小学校は、学校教育の一つである集団教育が達成できないと思います。いままでの歴史背景や地域性(農山村)を考慮しての統廃合としてほしい。豊丘小学校は第一学園(東中、高甫小、仁礼小)に入られて、高甫小に統合してほしい。豊丘地域のコミュニティーは、小学校の通学地域でなりたっている現状を考慮してほしい。	小中一貫教育は、メリットが大きいが、デメリットもあると考えます。学習や体育活動などでは、友達もできメリットが大きいです。しかし、いじめなどの問題は、小学校から中学校へ進むときのリセットがきかず、デメリットとなります。小学生の子供社会関係が中学生に引継がれる憂慮がおきます。小中一貫にこだわる必要はないと思います。	小中一貫型で学力向上、中1ギャップの軽減を旨とあります。私見ですが、小学校から中学校へ進むことにより、新しい友人ができること。小学生間の子供社会をリセットして、新たな子供社会で新たな目標、目的に向かうチャンスが得られるなどのメリットが望めるのではないかと。小中一貫9年間にこだわる必要はないと思います。	豊丘小学校の少子化は進む一方で、統廃合は喫緊の課題だと思います。豊丘小学校は第一学園の高甫小学校に編入をできるだけ早くすべきです。(5~6年以内)課題となる通学方法はスクールバスを用意するか、「高甫~豊丘~仁礼」の循環の市民バスの運行を確保してほしい。
189	30代	はい	今まで何をめざしてきたのか?総括が示されていない。「多様な価値観」とはいうが、「なんでもあり」という表面的な数合わせを旨しているのではないのか。同調圧力に弱い精神性についての反省もなされていない。何をさして「地域とともに歩む」としているのか。「須坂市都市計画」との整合性はどうか。審議会や検討会議で議論された形跡が見えない。	時代の方向は「多様な学び方の時代」ではないのか。年間通して個々の児童・生徒の学びに対応していくには、学園構想のような学校では出来ないだろう。対応するには小人数学級でないとなり。学園構想が現実のものとなる頃には、遅れている~ということになりかねないと思うよ。	期待することはない。現状でもその気になればできたはずだ。	特に(1)については、授業についていけなくなった、不登校が軽減されるとするが、エビデンスが示されていない。むしろ統合して人数を多くすることによって、拡大するのではないかと予想される。幅広い年齢層とのコミュニケーションが期待されるとするが、実際はそんなに期待できる程のことはないだろう。	スクールバスは児童・生徒の体力が落ちる。また、豊かな自然・地域の中を徒歩で通学する良さがなくなる。これは非認知能力の育成などと矛盾するのではないかと。教委に都合の良いようなアンケートです。
190	50代	いいえ	今、義務教育学校や小中一貫型にしなくても、めざす学校・めざす姿というのは実現出来ると思う。小中一貫型・義務教育学校にしなければ、めざす姿・めざす学校というのは出来ないのか?また、今日、現在の教育方法では出来なかったという事か?と疑問がある。	各地域別学園ごとに、格差(能力・学習のやり方...等)が出ないか心配。私も経験があるが、街中で育った子と、遠方や山間に近い地域で育った子とは、考え方や姿勢等で差別意識が強くあり、いじめが起ったり、同じグループ内でも「一つ」になれずにいる。学園側と地域住民・保護者・子供達とよりコミュニケーションとる事をしないと、この構想の内容・実現は難しいと思う。	小中一貫になれば、9年間長期に同じ所にいるので、もし、いじめや人間関係の拗れ等の事が起れば、長引く可能性はある。(子供達だけでなく、保護者、職員にも同じ事が起ると思う)そのケア・対策・配慮は必要。学校生活の中で、一番子供達の事を見ている、理解している、相談出来る担任教師がいなくなる不安がある。	何かお金をかけずに統廃合させ、スッキリ片づけさせてしまえ。という感じがある。本当に地域・住民・保護者・子供達が望んでいるものであるのか、疑問に思う。	遠くに住む生徒・教師の移動(通学・通勤)が大変になるのでは?スクールバス等検討との事だが、民間(長電等)外部委託なのか、市の行政でやるのか?又、その交通にかかる費用はどうなるのか?準備期間、通学変更時、改築や増築期間等ある場合、教育・行事などストップしないか?影響は出ないか?地域住民・保護者・子供達に十分な説明を行い、意見・要望をきいてほしい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」 「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区の見直しについて(4ページ)
191	30代	はい	豊丘小学校は児童数が少ないけど、とても良い学校です。 自由進度学習や縦割り授業など、少人数ならではの可能な、とても素敵な学習時間があります。 またその子供に合った宿題内容や、全校での活動なども今の時代に貴重な経験です。 このように素敵な活動をしている学校が、本当に無くなってしまおうのですか？ これが800人規模の学園になってしまったら、全くもってこの理想的な活動が出来なくなってしまいます。 全国からも、素敵で理想的な学校がある須坂市として名を馳せたいです。 今の移住者は、そう言う中身をちゃんと見て移住先を決めています。 間違っても小中一貫校に子供を入学させたいと思う親御さんは居ないと思います。 現在の須坂市内の小中学生達にも分かりやすい説明をし、是非アンケートをお願いします。 子供の気持も大切に出来る須坂市であって欲しいです。				
192	60代	いいえ					豊丘小学校と仁礼小学校の進学先である東中学校の通学区を6～7年後に分離するのはなぜなのか？ 旧 東村として一体感であった東中学への通学区分離するのは残念に思う。 現状通り豊丘小学校は東中学への通学を期待したい。 また、分離する案の意図(目的やメリット)についてより詳しい説明がないと、納得ができない。
193	40代	はい	小中一貫教育の推進については、異学年交流ができるので、多様な学びができるので良いと思いました。	須坂市内の学園を4つにする構想は、大胆な構想だと思いました。 今後、少子化は歯止めがかからない、市内への移住者も多く見込めない可能性があるため、学校規模は縮小せざるを得ないと思いました。 井上小や墨坂中は豊丘小、東中に比べ、児童・生徒数も多いため、現状では特急に進める必要はないと思いますが、市内の教育方針は統一した方が良いと思いますので、この構想で進めて頂きたいです。		地域による児童・生徒数が様々なので、その地域にあった学校構想で開校したら良いと思います。	須坂学園構想計画を拝見させて頂きました。 第二学園開校までに、豊丘小の児童が須坂小に通学するのに、最長で14年くらいかかると推測しました。そうなると、豊丘小全校児童が20人程度になる可能性があり、須坂市内の他小学校と比べると学校行事や教育に差が生じてくるのではないかと思います。 ただでさえ、2025年度の1年と2年が同じ教室、担任先生は1人になる複式学級8人になるのにスピード感が遅すぎるのではないのでしょうか？ まずは、第一学園の開校を進めるようですが、その間、現状豊丘小は東中に通学しているが、第二学園が開校するまでの間はどの中学校に通うのか記載がありません。今回の計画では時系列的なスケジュールがよくわからないので、時系列によるスケジュールの提示をお願いしたいです。 まずは、豊丘小は須坂小へ通学することを最優先にご対応頂きたいです。
194	70才以上	いいえ	豊丘小、仁礼小は東中学校への通学区であるので、小中一貫校にするのが当然だと思います				

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
195	30代	はい	小中一貫教育を行うことで、小中学校間の連携がより深まると思います。中1ギャップの解消につながったり、中学入学を見据えた小学校教育の充実につながることを期待しています。	学区が変わることによる混乱が心配です。十分な説明と準備が必要かと思ひます。	中学校の教員が小学校に乗り入れるのはいいと思ひますが、中学校教員の負担や時数の管理など、小中一貫用のカリキュラム編成が課題になるかと思ひます。	義務教育型の方が小中連携がより深まると思ひます。カリキュラム編成や教員の中小乗り入れもしやすいです。小中一貫型だと中途半端な連携になってしまうことが懸念されます。	
196	40代	いいえ		期待すること： ・小中間の児童生徒の生活指導面での理解や情報共有がしやすくなること。 ・小中間の児童生徒の学力や学習状況に関する理解や情報共有がしやすくなること。			
197	40代	いいえ				校舎の建てかえがあるのか。小中が一緒になることで、行事が増えそう。隣接型の場合は、職員や子どもどうしでの接触が少ないため、小学校(他の小学校とは一緒になるが)と中学校というのは、今と同じになりそう。	
198	40代	はい	小中一貫校は日本各地にあるが、今現在の公立の教育との違いが明確にわかりにくい。小学校から教科別の担当の先生を配置することで、専門的な知識をしっかりと学ぶ機会があることは、子供にとって非常に有意義なことだと思ひます。ただ、現在もそうだが言い方は悪いが先生によっては当たり外れがある。同じ市内での教育であればそういったものをなるべくなくすように先生たちの教育の機会も必要ではないか。私立にならってるのかもしれないが、親の収入の幅もある公立校で子供たちが均等に学ぶ機会ができるかは疑問に生じる。頭の良さしもあるが生まれた場合に、どういふサポートをするのかも考えた教育にしたい。	どんな教育をした場合にもいじめ問題はつきもの。ましてや9年も同じ校舎にいななかでそういういじめに対してどういふ対応をとるのかしっかりと考えてもらいたい		教育の違いがわからない	子供が多い地域、少ない地域が現在にもあるのに、構想案では明らかな偏りがあることがわかっている
199	60代	いいえ	国や県に従うのではなく、須坂市独自学園構想を考えてほしい。	第三学園構想 小学校どこにするのか。新しい小学校を建てるのか。教育の目的「人格完成」がいつのまにか、経済界のICT機器になってしまった。これが子どもにもたらす影響はどうなのか。学園構想ではどうなのか。	教育環境の教員の労働時間、教員不足、教育内容が増えていのに、持ちコマ数が増えているのに、教員も増やさず、持ちコマ数を減らさず学力向上、不登校が減少するののか。そんなこと話し合われたことがありましたか。	大規模校にするのではなく少人数学級の実現と教育予算の増を、きめ細やかな学習、生活指導、不登校対応などの点から、30人以下学級を実現するべきでないか。是非須坂から始めてもらいたい。長野県は35人学級を国より先にやりました。	地域説明会を時間をかけて説明していただきたいし、子どもの意見・親の意見をよく聞いてもらいたい。

整理番号	ご年齢	保護者	1「須坂市がめざす子どもの姿」「須坂市がめざす学校」について(1ページ)	2「須坂学園構想 未来予想図」について(2ページ)	3「小中一貫教育」について(2ページ)	4「義務教育学校」と「小中一貫型学校」について(3ページ)	5 スケジュール、通学方法、通学区域の見直しについて(4ページ)
200	無回答	無回答	委員の方の名前も、会議の内容やどんな意見が出されたのか公開されないで基本方針案のどこが良いのか判断できません。		小中一貫になれば「中一ギャップ」がなくなるような書き方ですが、逆に一貫校の課題は何もないのでしょうか。		